

とろろこんびシステム工房

日付印ぺったん Ver5.6.4 Rel.5
ユーザーズガイド

2012/08/06

とろろこんび

電子印鑑

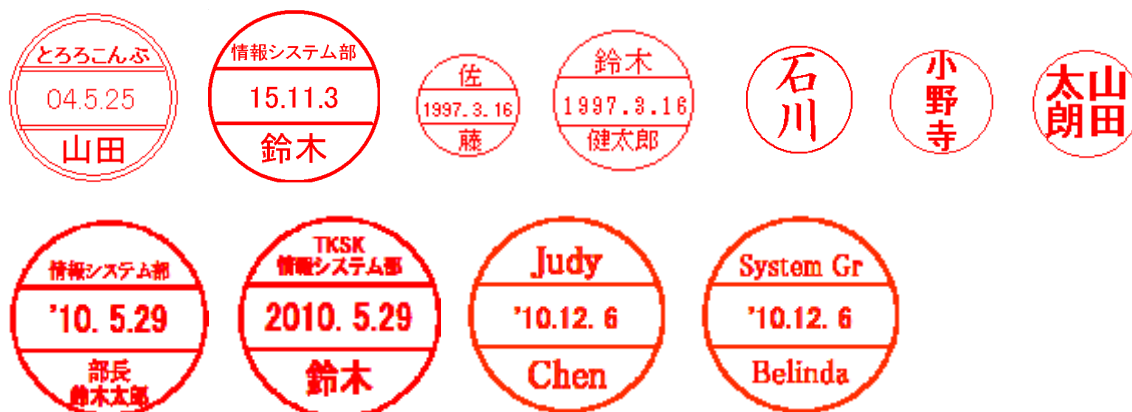
目次

	ページ
1. はじめに	2
1-1. 動作環境	
1-2. 使用ライセンスと体験版	3
2. インストール	4
2-1. インストールの準備	4
2-2. インストール	5
2-3. インストールされるファイルとフォルダー	10
2-4. インデックスファイルパスの設定	11
2-5. Excel/Word ツールバー	13
チュートリアル1 インストール	17
2-6 アンインストール	18
2-7 ライセンスの設定	20
3. 押印	22
3-1. 日付印ぺったんオブジェクトの挿入	23
3-2. 押印ダイアログ	25
チュートリアル2 押印	29
4. 押印情報の確認	30
チュートリアル3 押印情報の確認	31
5. インデックスファイル と ぺったんファイル	32
6. 日付印の登録、削除、修正	33
6-1. ぺったんマネージャ(ptmgr.exe) の起動	33
6-2. 日付印の追加	34
6-3. 日付形式	35
6-4. フォントの設定	36
6-5. ぺったん ID 設定ダイアログ	37
6-6. 日付印の削除	38
6-7. 日付印の修正	39
6-8. インポート機能による一括登録	40
チュートリアル4 自分の名前の登録	41
チュートリアル5 登録キーを用いての登録	43
7. パスワードの変更	45
チュートリアル6 パスワードの変更	46
8. プロファイルについて	47
8-1. プロファイルの構造	48
9. ログの出力	50
9-1. 押印ログ	50
9-2. 管理ログ	54
10. 未押印ぺったんオブジェクト	55
11. 自動押印	56
11-1. 自動押印の設定	56
11-2. 自動押印の解除	56
12. クリップボード転写	57
Appendix A ライセンス ID と ぺったん ID	58
Appendix B レジストリに登録される日付印ぺったんオブジェクト	60
Appendix C 付加されているデジタル証明書について	61
Appendix D. アンインストール後の Excel 押印メニューアドインの無効化	62

このマニュアルはとろろこんぶ電子印鑑「日付印ぺったん」のインストール方法及び操作方法を記述したユーザマニュアルです。

1. はじめに

このソフトウェアは電子的に日付印（会社でよく使うあの3段で日付が中段にあるはんこ）を押し、パソコン上で電子的に決済をするソフトウェアです。日付は西暦だけでなく和暦の表示も可能です。



このソフトウェアではOLEというテクノロジーを使って、日付印をデータに埋め込みます。例えば、ワードや一太郎などのOLE対応のワープロソフトには、オブジェクトの挿入という機能が用意されていますが、それを使って日付印ぺったんのオブジェクトを文書中に埋め込むことができます。

ただし、押印の際にはパスワードを入力しなければなりません。このパスワード機能によってパスワードを知っている人しか押印できないようになっており、電子承認が可能になるわけです。

押印時には文書番号、承認者名、日付、承認者の所属、承認項目などがオブジェクトに埋め込まれます。また、承認履歴がログファイルに吐き出されますので、文書の承認履歴管理が可能になります。

1-1. 動作環境

このソフトウェアは次のOS上で動作します。

- Windows 7(x64)
- Windows 7(86)
- Windows Vista(x64)
- Windows Vista(86)
- WindowsXP(86)

このバージョンに付加されているデジタル証明書の有効期限は **2014年4月28日**です。

1-2. 使用ライセンスと体験版

日付印ぺったんを使用するにはライセンスが必要です。
ライセンスには次の3種類があります。

- 企業向けの**企業ライセンス**
- ワークグループ向けの**ワークグループライセンス**
- 個人向けの**パーソナルライセンス**

企業ライセンス（企業向け）

企業ライセンスでは、上段及び下段の文字を任意に設定できます。
企業内多部署で用いる場合は企業ライセンスをご購入ください。



ワークグループライセンス（企業内部門向け）

ワークグループライセンスでは、下段の文字のみ任意に設定できます。

上段文字（上段2及び上段1）は固定になります。

上段には所属名（あるいは企業名）を設定することを想定していますが、所属名が変更になってもライセンスの再発行はしませんので企業内で用いる場合は企業ライセンスのご購入をお勧めいたします。

パーソナルライセンス(個人向け)

パーソナルライセンスでは上段と下段の文字が固定となります。

上段に所属名などを指定した場合、所属が変更になってもライセンスの再発行はしませんので企業内で用いる場合は企業ライセンスのご購入をお勧めいたします。

体験使用

日付印を構成する文字数の合計が全角2文字(半角4文字)以内であれば体験使用ができます。

日付印ぺったんは2つの実行モジュール、管理ツール ptmgr.exe とメインモジュール pettanin.exe で構成されます。また、ログファイルが改ざんされていないことを確認するためのツール CheckLog.exe も付属します。

モジュール名	概要	ライセンスについて
ptmgr.exe	ぺったんマネージャ。 日付印を管理するツール。	ライセンスはこの管理ツールに設定します。 ライセンスを設定しなくても体験使用ができます。
pettanin.exe	押印ツール	ライセンスの設定はありません。
checklog.exe	ログチェックツール	ライセンスの設定はありません。

ライセンスについて詳しくは次のサイトをご覧ください。

http://www.tororokonbu.jp/hanko_price.html

ライセンスがなくても体験使用は可能ですので、次のインストールへ進んでください。

2. インストール

2-1. インストールの準備

インターネット上からダウンロードなどして入手した場合はファイル名が pettan****.zip になっています。圧縮ファイルですので解凍してください。

解凍によって インストーラ setup.exe が生成されます。

インストーラは次の2つがあります。初めて日付印ぺったんを使用する場合は setup.exe をご利用ください。

インストーラの種類	説明
setup.exe	<p>通常のインストーラ。</p> <p>インストールできるモジュールは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 日付印ぺったん本体モジュール (pettanin.exe) ② 日付印ぺったん管理ツール(ぺったんマネージャ ptmgr.exe) ③ Excel/Word 用押印メニューバー
setup_nomgr.exe	<p>管理ツールを除いたインストーラ。</p> <p>セキュリティを保つため、最終エンドユーザには管理ツールを渡したくないというニーズに応えたものです。</p> <p>また、インストール中のメッセージは英語になっております。日本語 Windows 以外へのインストールが行えるようになっています。</p> <p>インストールされるのは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 日付印ぺったん押印ツール (pettanin.exe) ② Excel/Word 用押印メニューバー

注意) 日付印ぺったんが既にインストールされている場合は日付印ぺったんインデックスファイル (index.dat)やプロファイルをバックアップしておいてください。インストーラがこれらのファイルを上書きする場合があります。上書きされると、登録済みの承認印やプロファイルが削除されますので注意して下さい。

以後、setup.exe の場合を中心に、インストール手順を説明いたします。

2-2. インストール

手順0) 管理権限のあるユーザで Windows にログインしてください。
Excel/Word が起動している場合は終了させてください。

手順1) setup.exe をエクスプローラ上でダブルクリックするなどして起動します。

日付印ぺったんのインストーラ setup.exe および setup_nomgr.exe には グローバルサイン社発行のとろろこんぶシステム工房 代表 小野寺健一(Kenichi Onodera) のデジタル証明書が付加されています。

このバージョンに付加されているデジタル証明書の有効期限は **2014年4月28日**です。

デジタル証明書の有効期限が切れている場合、または、パソコンにグローバルサイン社のルート証明書がインストールされていない場合は「発行元：不明」の警告が表示されます。詳しくは「Appendix C. セットアップツールに付加されているデジタル証明書について」を参照してください。

【Windows 7 の場合】

右図の表示が出ますのでボタン [はい] をクリックしてください。



【Windows Vista の場合】

右図の表示が出ますのでボタン [続行] をクリックしてください。



手順2) インストーラを起動すると確認のメッセージが表示されますのでボタン「はい」をクリックします。(右図)

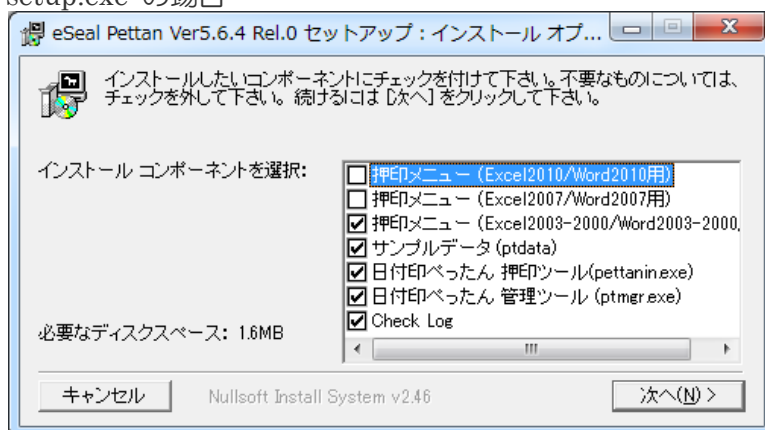


手順3) インストールするコンポーネントを選択します。

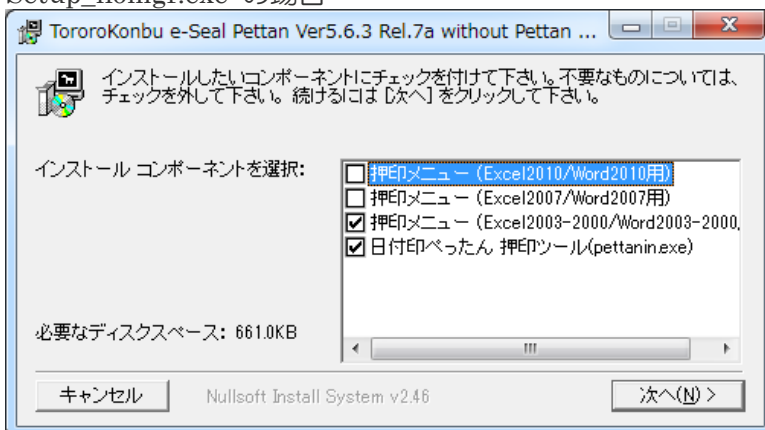
押印メニューは使用するWord/Excelのバージョンに合わせて1つだけ選択してください。

ボタン[Next >]をクリックします。(右図)

setup.exe の場合



Setup_nomgr.exe の場合



押印メニュー (Excel2010/Word2010 用)	Excel2010 および Word2010 用の押印メニューアドインがインストール。Office2010(64bit版/32bit版)で日付印ぺったんを用いる場合は選択してください。
押印メニュー (Excel2007/Word2007 用)	Excel2007 および Word2007 用の押印メニューアドインがインストール。Office2007 で日付印ぺったんを用いる場合は選択してください。
押印メニュー (Excel2003-2000 /Word2003-2000)	Excel2003,2002,2000 および MS-Word2003,2002,2000 用の押印メニューアドインがインストールされます。Office2003,2002,2000 で日付印ぺったんを用いる場合は選択してください。
日付印ぺったん サンプルデータ	このユーザーズガイドのチュートリアルで使用するサンプルデータが入っています。日付印ぺったんを初めて使用する場合はインストールしてください。

	マイドキュメントフォルダーに配置されます。
日付印ぺったん	日付印ぺったんの本体モジュール(押印ツール) pettanin.exe です。 手順 4 で設定するインストールフォルダーに配置されます。
日付印ぺったん 管理ツール	日付印ぺったんマネージャ ptmgr.exe がインストールされます。 日付印ぺったんを初めて使用する場合はインストールしてください。 手順 4 で設定するインストールフォルダーに配置されます。
Check Log	ログファイルの不正改ざんをチェックするツール checklog.exe です。 手順 4 で設定するインストールフォルダーに配置されます。

また、インストールされる押印メニューは日本語版です。英語環境で用いる場合は押印メニューはインストールしないでください。Word および Excel 用の押印メニューを下記サイトからダウンロードして英語版をインストールしてください。

MS-Word 押印メニュー

http://www.tororokonbu.jp/hanko_wordmenubar.html

MS-Excel 押印メニュー

http://www.tororokonbu.jp/hanko_excelmenubar.html

注) 1 台の PC を複数ユーザで用いる場合は、管理権限のある1ユーザで承認はんこをインストールしてください。
Excel/Word 押印メニュー のみ、それぞれのユーザでインストールしてください。

押印メニューアドインの配置先については「2-3. インストールされるファイルとフォルダー」を参照してください。

手順 4) インストールフォルダーを指定します。

インストール先は任意に変更できます。

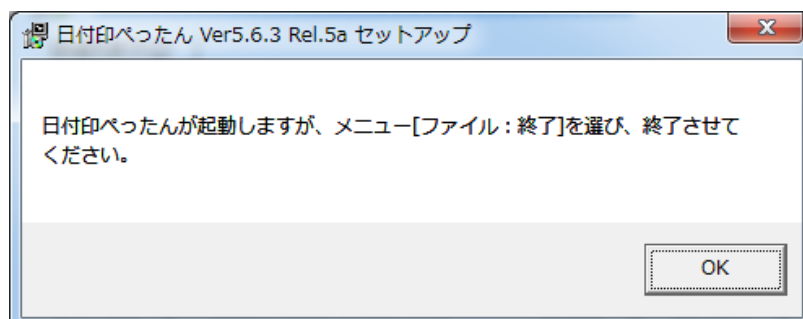
ボタン[Install]をクリックします。

(右図)



インストールが始まると日付印ぺったん pettanin.exe が起動します。この起動により日付印ぺったんオブジェクト ID などの必要な情報がレジストリに書き込まれます。日付印ぺったんは終了させてください。

(右図)



手順4) メニュー「ファイル」→「終了」を選び、日付印ぺったんを終了させます。

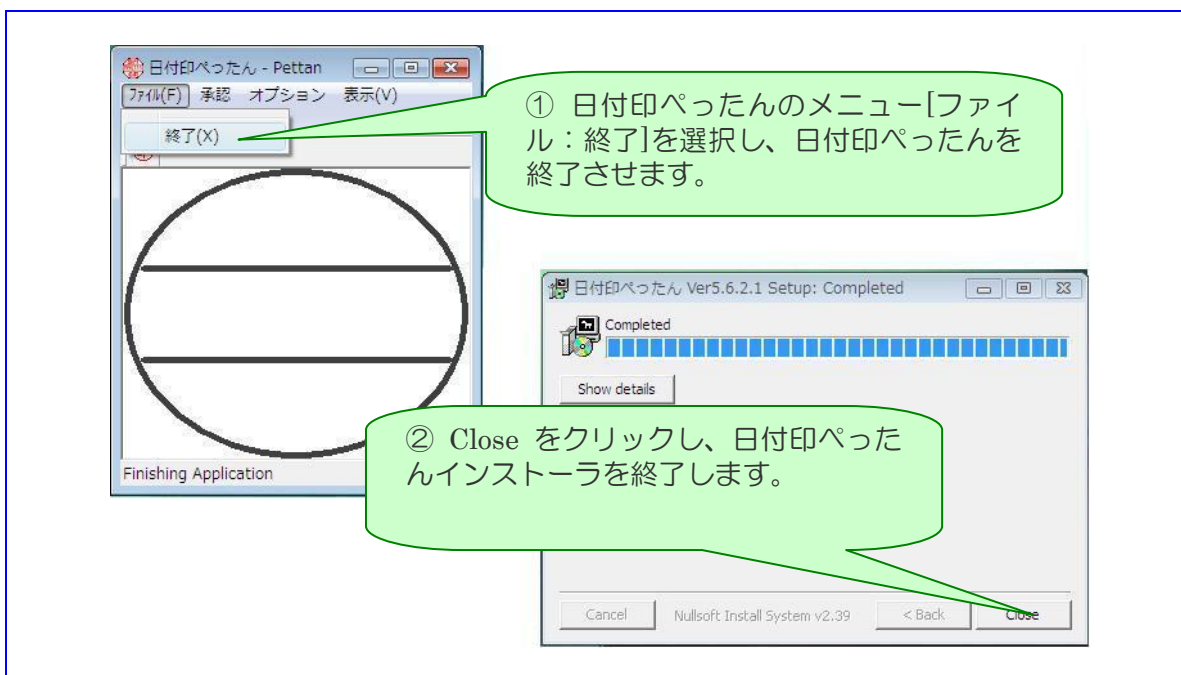


図 2.8 日付印ぺったんのメニュー[ファイル: 終了]を選択し、日付印ぺったんを終了させます。日付印ぺったんインストーラのボタン[Close]を選択し、インストーラを終了します。

インデックスファイルが見つからない場合は警告が表示されることがあります。その場合は「2-2-2 インデックスファイルパスの設定」を参照してください。

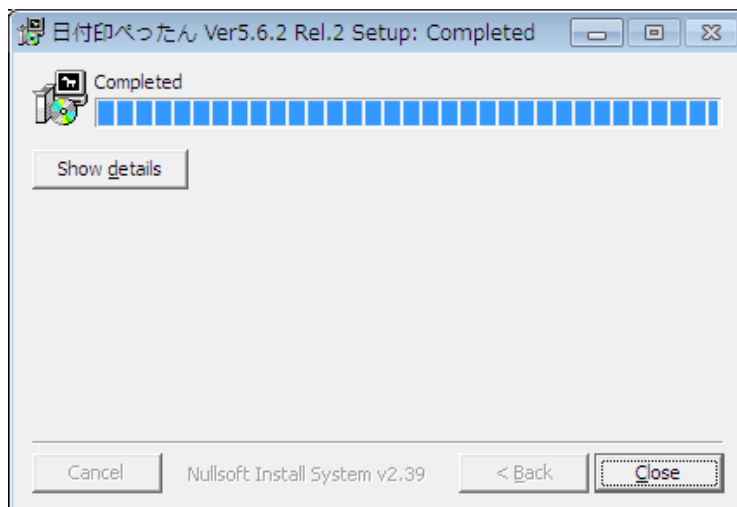
日付印ぺったんデータファイル(インデックスファイル)が見つからない場合は警告が表示されることがあります。その場合は「2-2-2 インデックスファイルパスの設定」を参照してください。



Completed が表示されればインストールは終了です。

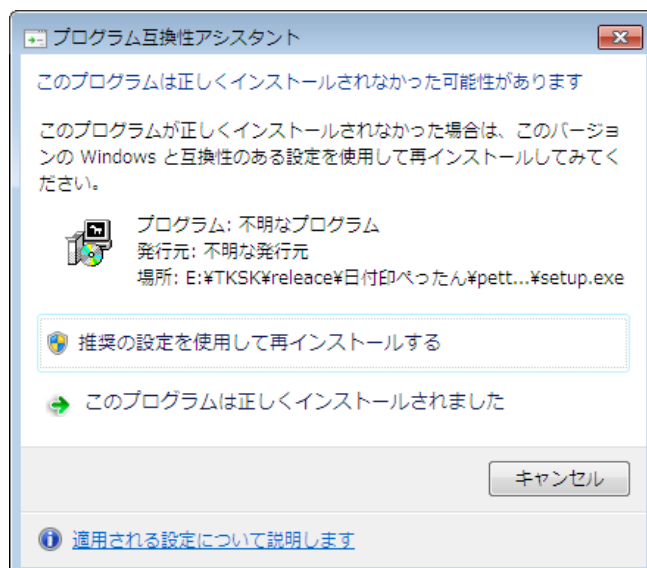
ボタン[Close]をクリックし、インストーラを終了します。

(右図)



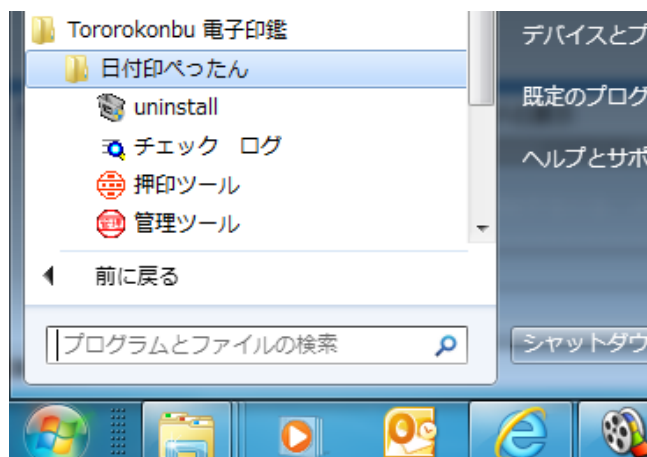
注意) Windows7/Vista の場合、インストール終了後、「このプログラムは正しくインストールされなかった可能性があります。」と表示されることがあります。

「このプログラムは正しくインストールされました。」を選択します。
(右図)



以上でインストールは終了です。

スタートメニューにインストールしたコンポーネントが登録されていることを確認してください。



参考) インストールが終了すると、インデックスファイルパス、言語が パーソナルドキュメントフォルダ下の hanko.ini に書き込まれます。パーソナルドキュメントフォルダの場所は次の通りです。

Windows Vista	c:\ユーザー\ユーザー名\ドキュメント\hanko.ini
WindowsXP	C:\Documents and Settings\ユーザー名\My Documents\hanko.ini
Windows2000	C:\Documents and Settings\ユーザー名\My Documents\hanko.ini
Windows98	c:\My Documents\hanko.ini

以上でインストールは完了です。

Excel で使用する場合は 「2-5-1. Excel メニューバーアドインマクロの組み込み」 へ進んでください。

2-3. インストールされるファイルとフォルダー

インストーラによりインストールされるファイルを下表に示します。

インストールフォルダー（デフォルト：C:\Program Files\TororoKonbu\pettan）

ファイル名	説明
pettanin.exe	日付印ぺったんの実行モジュール
ptmgr.exe	日付印ぺったん管理ツール
checklog.exe	ログの不正改ざんをチェックするツール

マイドキュメントフォルダー（C:\Users\ユーザー名\Documents）

フォルダ名	説明
pt_data	サンプルインデックスファイルが入っています。 インストール中、モジュール選択ダイアログで「サンプルデータ」 をチェックするとインストールされます。

フォルダー（pt_data）

ファイル名	説明
index.dat	インデックスファイル（チュートリアル用サンプル）
Index_kara.dat	空のインデックスファイル。
*.ptn	ぺったんファイルサンプル
tkprf_ptn_***.xml	プロファイル（パラメータが入っています。）

スタートメニュー

【WindowsVista および Windows7 の場合】

C:\ProgramData\Microsoft\Windows\Start Menu\Programs\Tororokonbu e-Seal\pettan

【WindowsXP および Windows2000 の場合】

C:\Documents and Settings\All Users\スタートメニュー\Programs\Tororokonbu e-Seal\pettan

参考) Ver5.6.3 Rel.5 までは CurrentUser(ログインユーザ) に配置されていました。

Excel/Word 押印メニューアドインファイル

ファイル名	インストール先
Excel アドインマクロ e-SealMenu_pt.xla	<p>【WindowsXP および Windows2000 の場合】 C:\Documents and Settings\ユーザー名\Application Data\Microsoft\AddIns</p> <p>【WindowsVista および Windows7 の場合】 C:\ユーザー\ユーザー名\AppData\Roaming\Microsoft\AddIns</p>
Word マクロ e-SealMenu_pt.dot	<p>【WindowsXP および Windows2000 の場合】 C:\Documents and Settings\ユーザー名\Application Data\Microsoft\Word\STARTUP</p> <p>【WindowsVista および Windows7 の場合】 C:\ユーザー\ユーザー名 \AppData\Roaming\Microsoft\Word\STARTUP</p>

Excel/Word メニューバーについては「2-6.Excel/Word メニューバー」を参照してください。

2-4. インデックスファイルパスの設定

日付印ぺったんの印影データはインデックスファイルで管理しています。印影データをサーバで管理したい場合など、インデックスファイルパスの変更を行う必要が生じる場合があります。

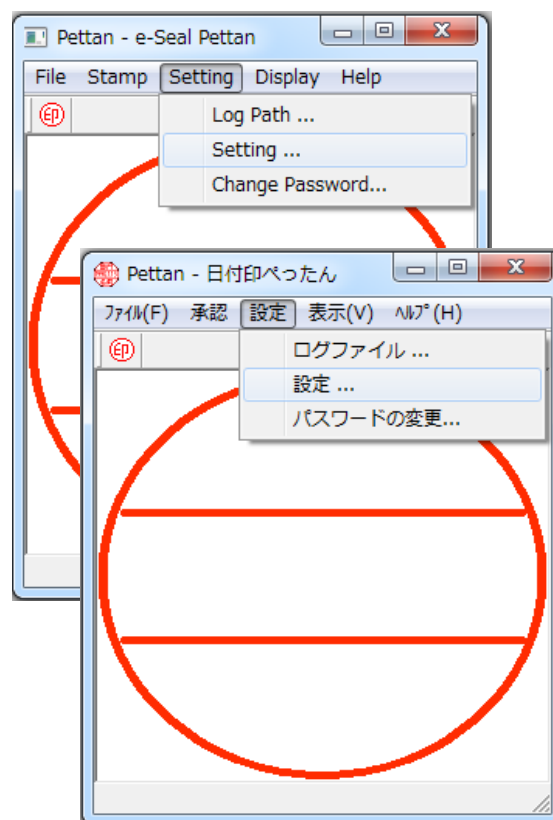
インデックスファイルパスの確認/変更は日付印ぺったんでも日付印ぺったん管理ツールでも、どちらでも行えます。設定変更方法について説明いたします。

2-4-1. 日付印ぺったんによる設定方法

スタートメニューから「日付印ぺったん」（英語環境の場合は「Pettan」）を選択し、押印ツールを起動します。

【日本語環境】
日付印ぺったんのメニュー [設定：設定...] を選択します。

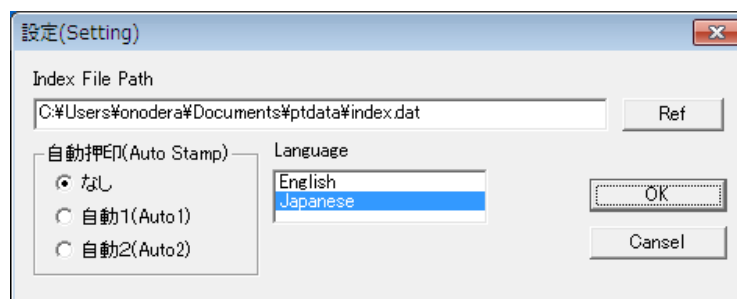
【英語環境】
日付印ぺったんのメニュー [Setting：Setting...] を選択します。



ファイル設定ダイアログが開きます。

ボタン[参照] を用いてインデックスファイルパスの設定変更を行います。

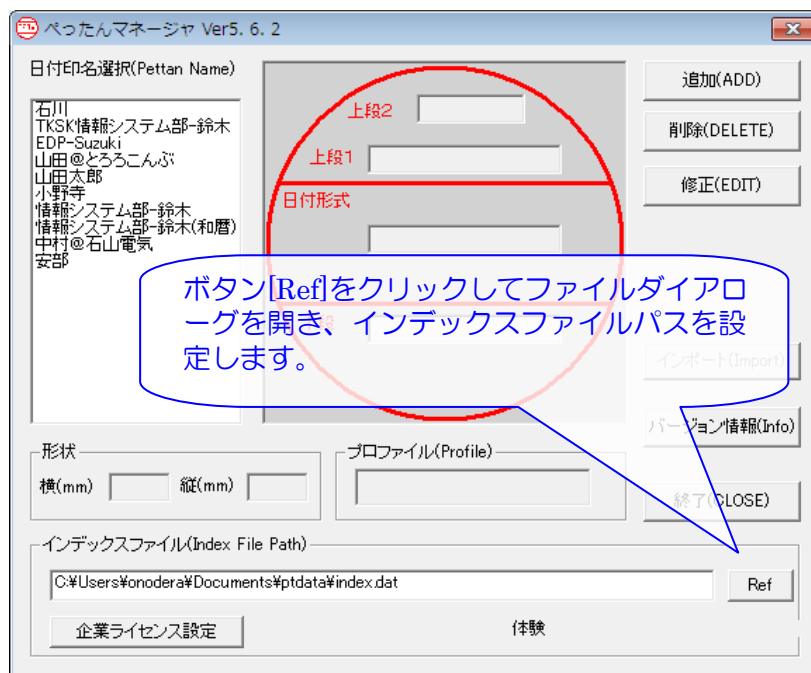
OKボタンをクリックし、日付印ぺったん(pettanin.exe) を終了します。



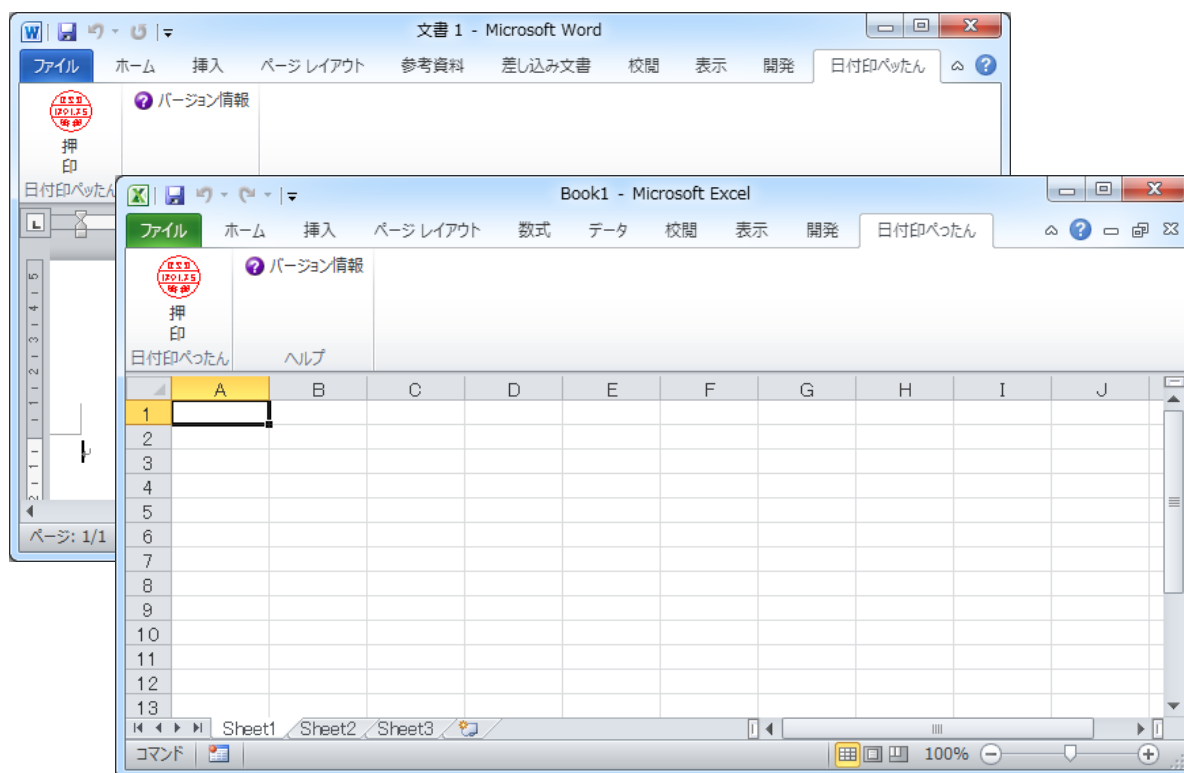
2-4-2.日付印ぺったんマネージャによる設定方法

スタートメニューから「管理ツール」(英語環境の場合は「Pettan Manager」)を選択し、日付印ぺったんマネージャを起動します。

ぺったんマネージャのメインダイアログ上のボタン「Ref」を用いてインデックスファイルパスを設定します。



2-5. Excel/Word メニューバー



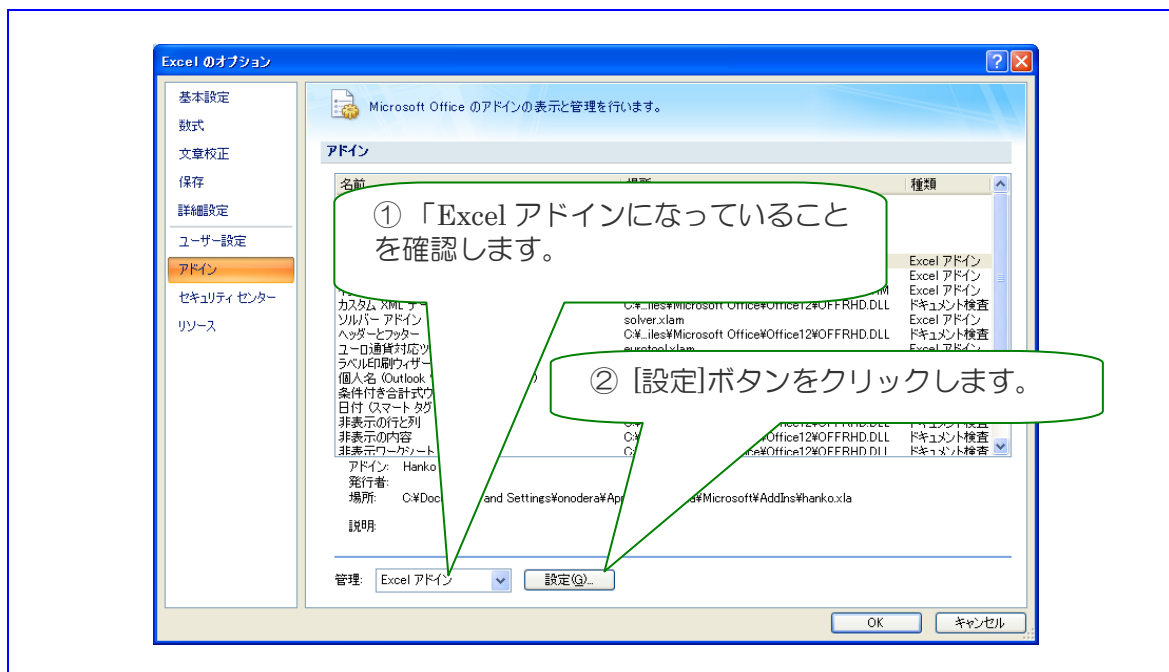
先のインストーラで、Excel/Word MenuBar を選んだ場合は Excel アドインマクロファイル eSealMenu_pt.xla(m) および Wordテンプレートファイル eSealMenu_pt.dot(m) が組み込まれています。

次のフォルダーに配置されています。

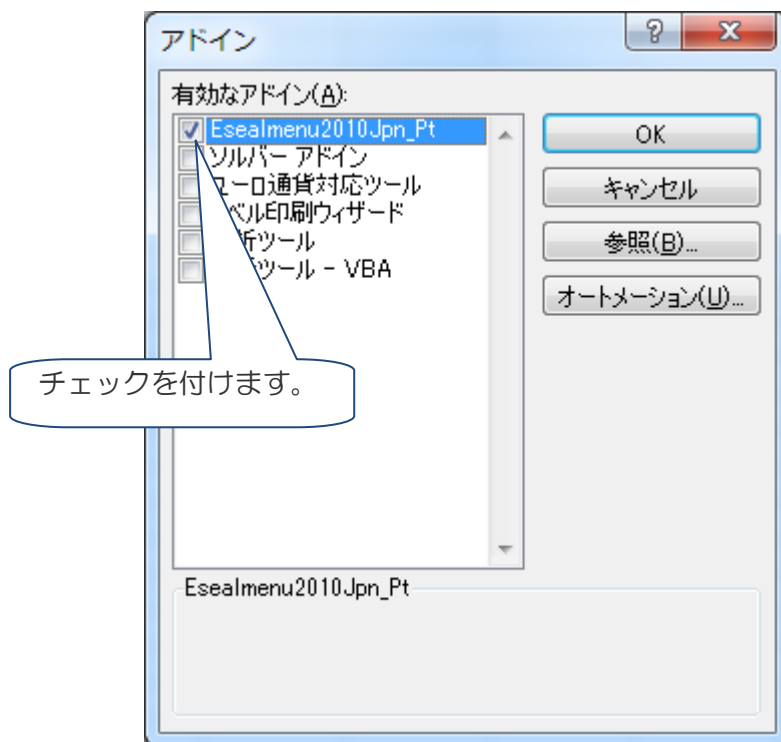
ファイル名	インストール先
Excel アドインマクロ e-SealMenu_pt.xla(m)	<p>【WindowsXP および Windows2000 の場合】 C:¥Documents and Settings¥ユーザ名¥Application Data¥Microsoft¥AddIns</p> <p>【WindowsVista および Windows7 の場合】 C:¥ユーザ¥ユーザ名¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥AddIns</p>
Word マクロ e-SealMenu_pt.dot(m)	<p>【WindowsXP および Windows2000 の場合】 C:¥Documents and Settings¥ユーザ名¥Application Data¥Microsoft¥Word¥STARTUP</p> <p>【WindowsVista および Windows7 の場合】 C:¥ユーザ¥ユーザ名 ¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥Word¥STARTUP</p>

2-5-1. Excel メニューバーアドインマクロの組み込み

Excel を起動し、アドインダイアログを開きます。



左メニューの「アドイン」を選択するとアドインリストが表示されます。ボタン「設定」をクリックします。



アドインマクロダイアログを開き、eSealmenu**_pt にチェックを入れてください。eSealmenu**_pt にチェックを付けると押印メニューが表示されます。

アドインマクロダイアログの表示方法について詳しくは「Excel での使用ガイド：アドインマクロの組み込み」を参照ください。下記からダウンロードできます。

MS-Excel メニューバー

http://www.tororokonbu.jp/office_menubar/menubar_excel.html

2-5-2. Word メニューバーテンプレートの組み込み

先のインストーラにおいて、Excel/Word MenuBar を選ぶだけで、特に設定は必要ありません。

Exce/Word/PowerPoint 用押印メニューバーについて詳しくは下記ホームページからドキュメントをダウンロードしてご利用ください。

MS-Word メニューバー

http://www.tororokonbu.jp/office_menubar/menubar_word.html

MS-Excel メニューバー

http://www.tororokonbu.jp/office_menubar/menubar_excel.html

MS-PowerPoint メニューバー

http://www.tororokonbu.jp/office_menubar/menubar_ppoint.html

チュートリアル1 インストール

チュートリアル 1-1.日付印ぺったんのインストール

「日付印ぺったん」をインストールしてください。

チュートリアル 1-2. サンプルの日付印データの確認

日付印ぺったん に添付されているサンプルのインデックスファイル ptdata¥index.dat に初期登録されている日付印は次のとおりです。この登録済みのサンプル日付印を用いてチュートリアルを進めていきます。

日付印名	パスワード	上段の上	上段の下	下段	プロフィール
情報システム部-鈴木	TEST		情報システム部	鈴木	Tkprf_ptn_default.xml
情報システム部-鈴木(和暦)	TEST		情報システム部	鈴木	Tkprf_ptn_default.xml
安部	TEST		安	部	Tkprf_ptn_default.xml
EDP-Suzuki	TEST		EDP	Suzuki	Tkprf_ptn_default.xml
TKSK 情報システム部-鈴木	TEST	TKSK	情報システム部	鈴木	Tkprf_ptn_test.xml

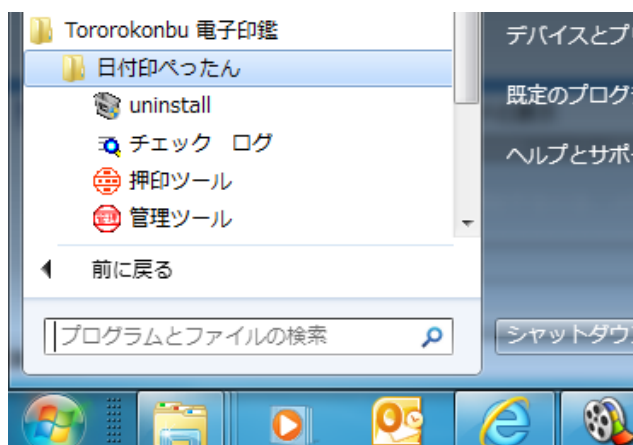


図 T1-1 スタートメニューからから[Tororokonbu 電子印鑑: 日付印ぺったん:押印ツール]を選択します。

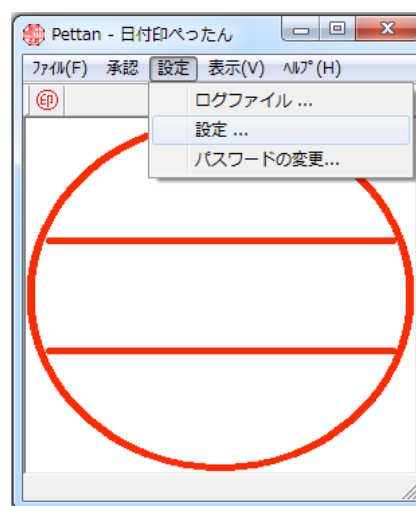


図 T1-2 日付印ぺったんが起動したら、メニュー[設定:設定...]を選択します。

2-6.アンインストール

アンインストールはアンインストーラで行います。
ただし、Excel 用の押印アドインマクロが組み込まれている場合はアンインストーラを実行する前にアドインマクロを無効にします。

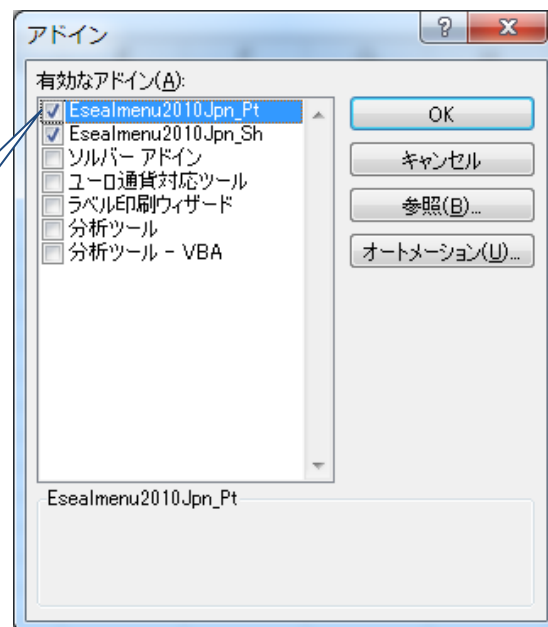
参考) WORD 用のマクロについては特に事前に行うことはありません。

Excel を起動し、アドインダイアログを表示します。

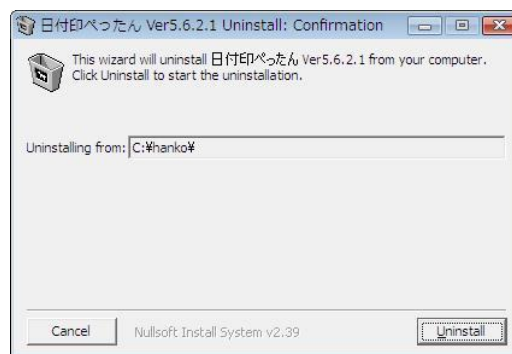
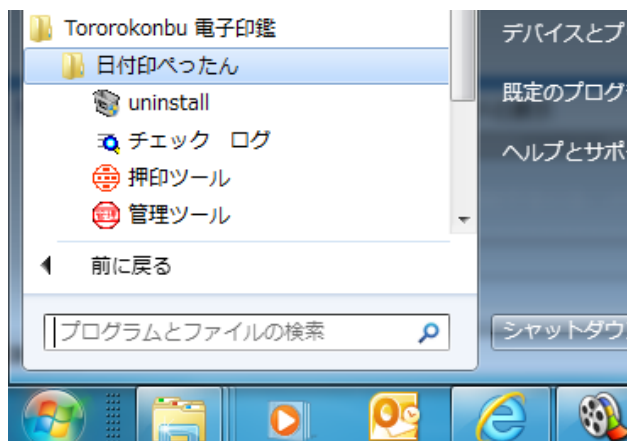
アドイン E-Sealmenu_pt のチェックをはずし、ボタン[OK]をクリックします。

「はんこメニューを削除しました。」と表示されます。

チェックを外します。



アンインストールはスタートメニュー[Tororokonbu 電子印鑑: 日付印ぺったん:uninstall] を選択すると実行されます。



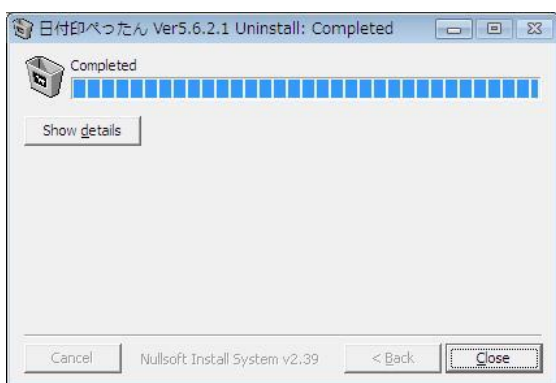
スタートメニューから[Tororokonbu 電子印鑑: 日付印ぺったん:uninstall] を選択するとアンインストーラが起動します。

アンインストーラが起動します。ボタン[uninstall]をクリックするとアンインストールが実行されます。

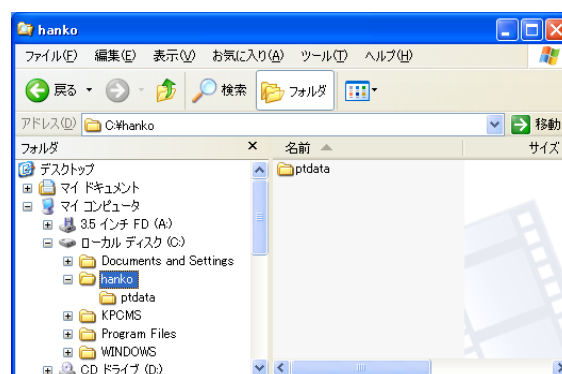
注1) マイドキュメントフォルダー内のぺったんデータフォルダー ptdata は削除されません。ユーザが登録したぺったんデータが誤って削除されないようにするためです。

注2) スタートメニュー[Tororokonbu 電子印鑑]は削除されずに残ります。削除する場合は、マウスに右ボタ

ンで表示されるポップアップウィンドウから「削除」を選択してください。



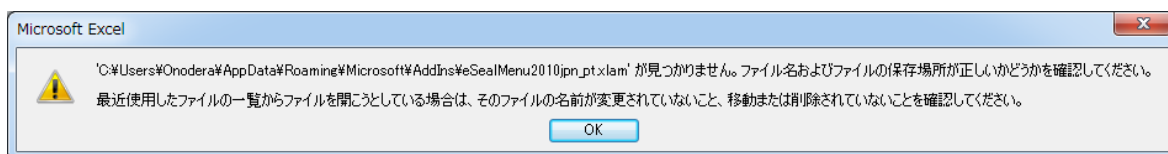
ボタン[Close]をクリックして終了します。



インストールディレクトリとぺったんデータフォルダ
ーptdata は削除されません。

日付印ぺったんがレジストリに登録する情報については「Appendix C. レジストリに登録される日付印ぺったんオブジェクト」を参照してください。

Excel のアドインマクロ eSeal_** のチェックをはずさずにアンインストーラを実行すると、Excel 起動時にエラーが表示されます。



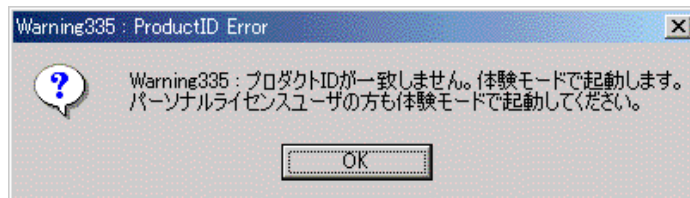
「Appendix . アンインストール後の Excel 押印メニューアドインの無効化」を参照し、Excel アドインリストから押印メニューを削除してください。

2-7.ライセンスの設定

ライセンスをご購入いただいた場合はライセンス ID/キーを設定する必要があります。
ライセンスは日付印ぺったん管理ツール ペったんマネージャに設定します。
以下、設定手順について説明します。

手順1) 日付印ぺったん管理ツール ptmgr.exe を起動します。

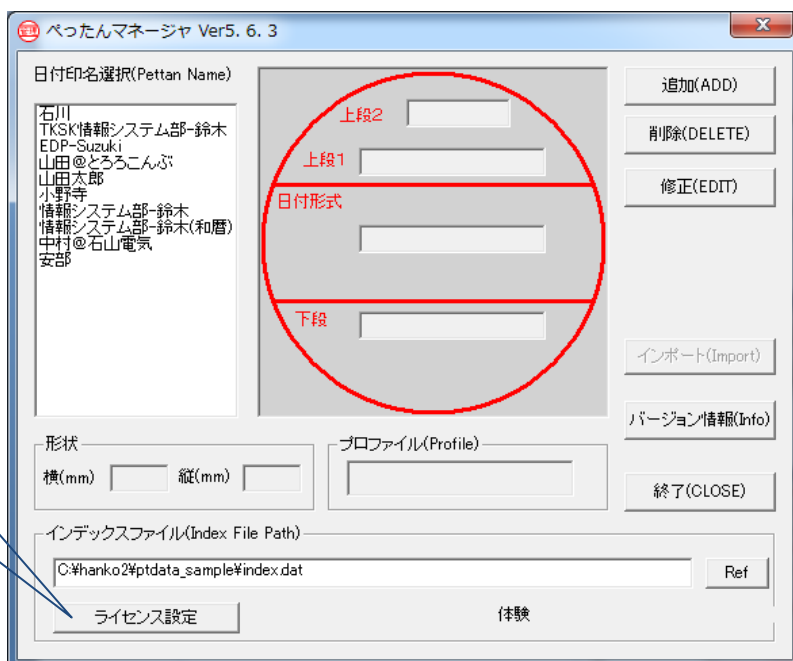
「プロダクトIDが一致しません」という警告メッセージが表示されます。「OK」をクリックします。



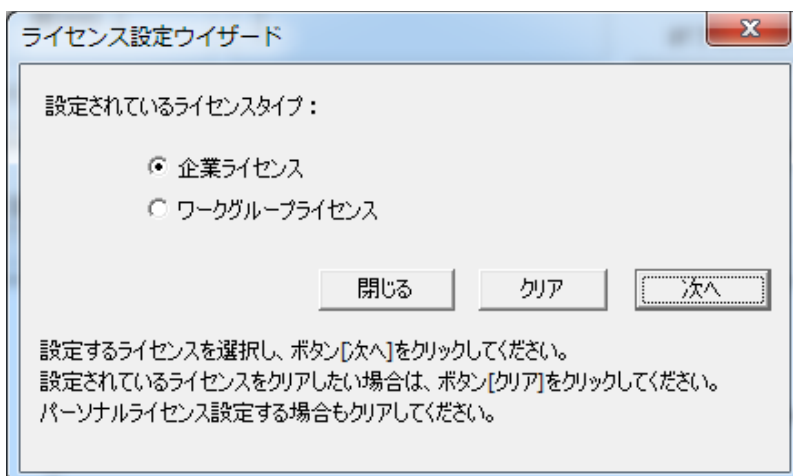
ぺったんマネージャが開きます。

手順2) ボタン[ライセンス設定]をクリックします。

ここをクリック

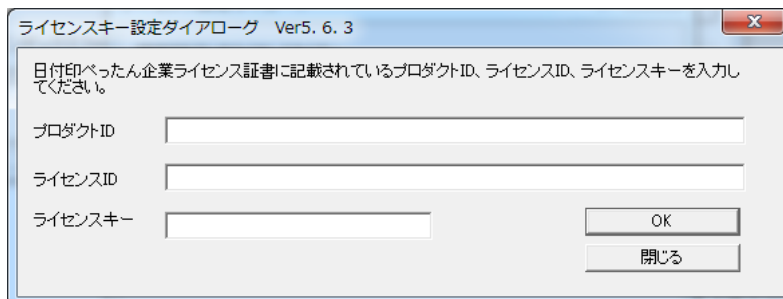


手順3) 設定するライセンスを選択し、ボタン[次へ]をクリックします。



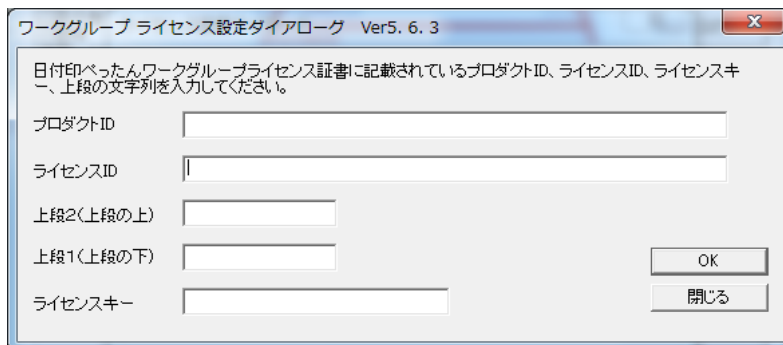
企業ライセンス

手順4) 企業ライセンス証書にかかっているプロダクトID、ライセンスIDとライセンスキーを入力し、OK ボタンをクリックします。

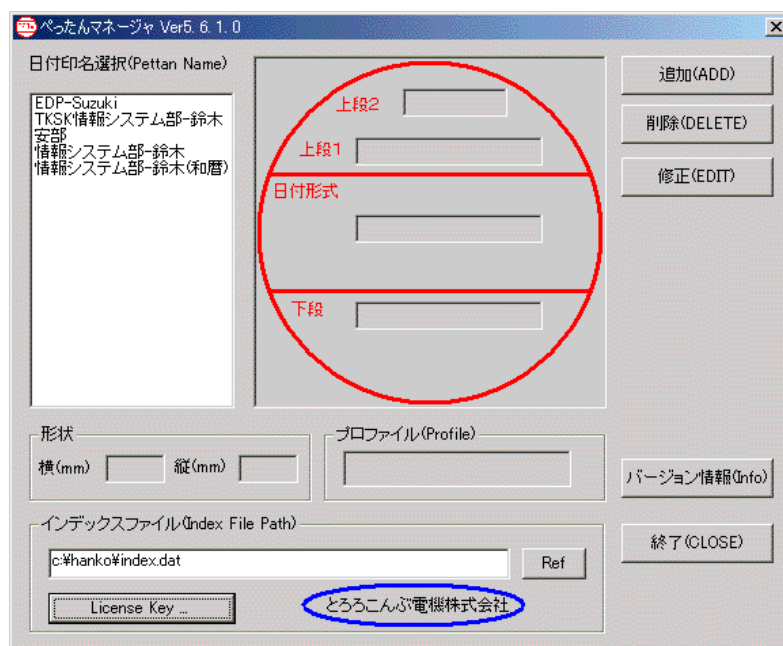


ワークグループライセンス

手順4) ワークグループ企業ライセンス証書にかかっているプロダクトID、ライセンスID、上段2、上段1とライセンスキーを入力し、OK ボタンをクリックします。



ライセンスIDが表示されます。



3. 押印

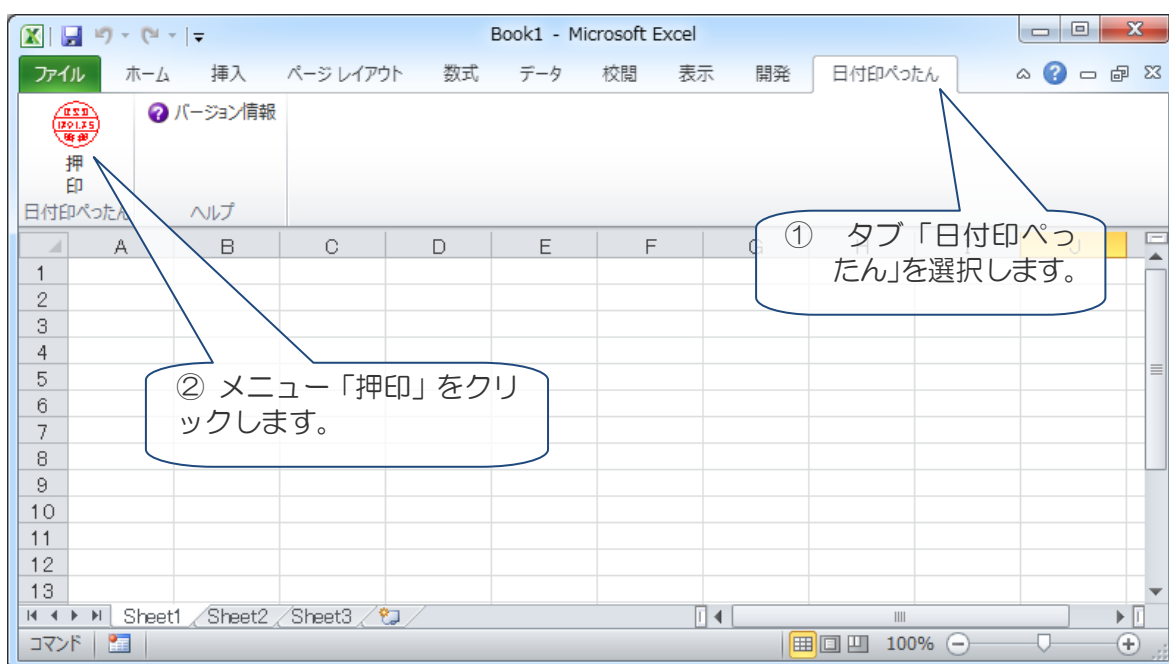
MS-Word や MS-Excel など OLE 対応アプリケーションには OLE オブジェクトの挿入機能があります。電子印鑑「日付印ぺったん」はこの OLE オブジェクトとして挿入されます。

Excel/Word 用の押印メニューを用いて押印する方法と、押印メニューを用いない方法(手動)について説明いたします。

3-1. 「日付印ぺったん」こオブジェクトの挿入

3-1-1. Excel 押印メニューを用いての Excel への押印

Excel を起動します。

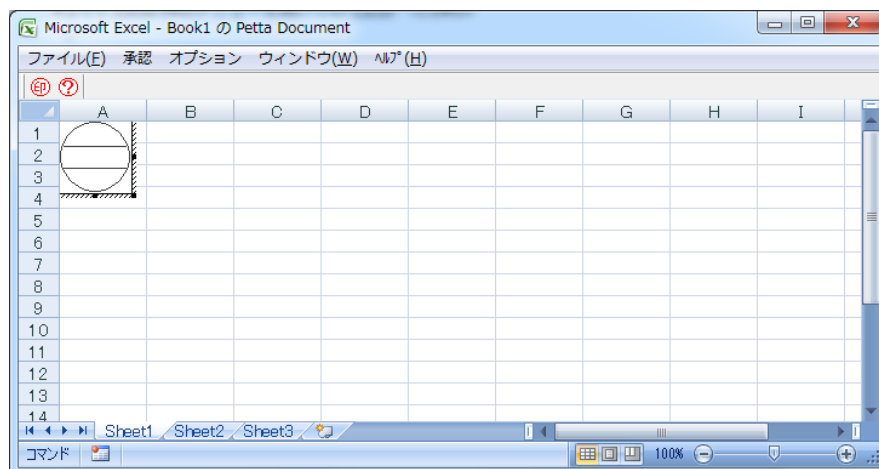


メニュー「承認はんこ 押印」を選択すると押印されます。

「日付印ぺったんオブジェクト」が挿入されます。

日付印ぺったんオブジェクトはアクティブとなっています。

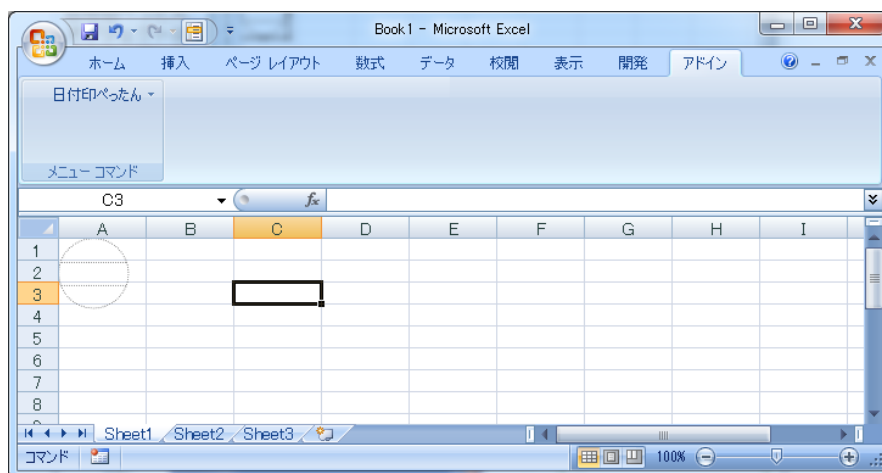
Excel のメニュー、ツールバーが日付印ぺったんのメニューに入れ変わっています。



オブジェクト以外の部分をクリックすればオブジェクトのアクティブな状態は解除されます。

メニューは Excel のメニューに戻っています。

日付印の印影は未押印（押印ダイアログを用いて押印していない状態）のため破線になっています。



3-1-2. 手動での Excel への押印

Excel/Word には押印メニューが用意されていますが、一太郎など押印メニューが用意されていないアプリケーション上で押印する場合は手動で押印します。

Excel を例に説明いたしますが、他の OLE 対応アプリケーションでも操作は殆ど同じになります。

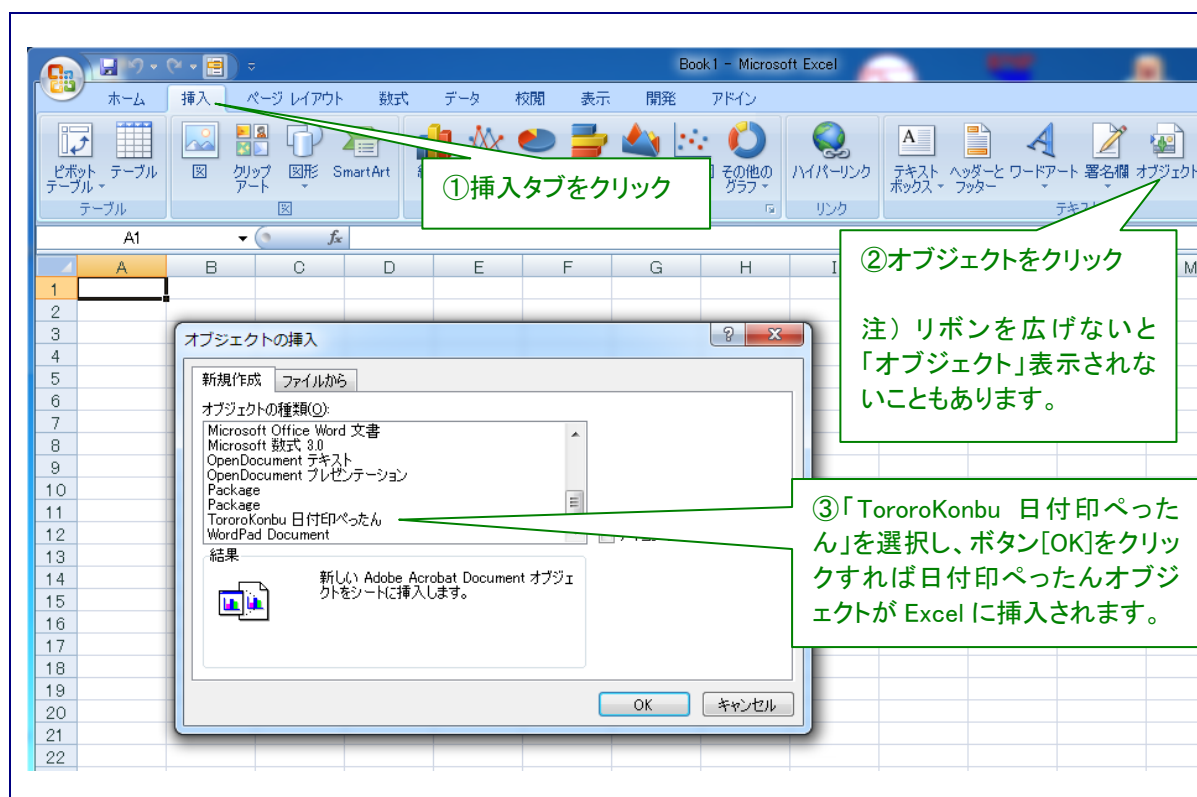
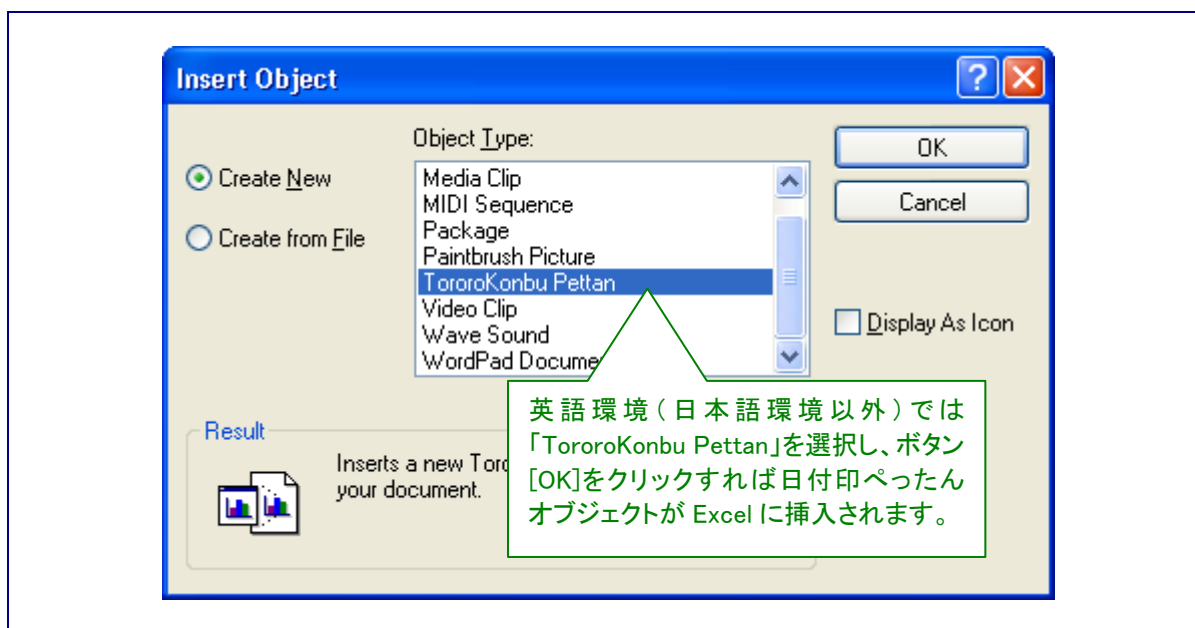


図 3-1 Excel2007 に押印する例。オブジェクトの挿入ダイアログに「TororoKonbu 日付印ぺったん」がリストされていることを確認してください。



日本語環境以外ではオブジェクト名は「 TororoKonbu Pettan」になります。

MS-Word や MS-Excel など OLE 対応アプリケーションには OLE オブジェクトの挿入機能があります。電子印鑑 「日付印ぺったん」はこの OLE オブジェクトとして挿入されます。

MS-Word の場合の「日付印ぺったん」オブジェクトの挿入操作手順は次のようになります。MS-Excel など他の OLE 対応アプリケーションでも操作は殆ど同じです。

手順 1) MS-Word など OLE 対応アプリケーションの文書が開いた状態にします。

手順 2) メニュー「挿入」->「オブジェクト」を選択します。(図 3-1)

手順 3) 「オブジェクトの種類」リストボックスから「日付印ぺったん」あるいは「Tororokonbu Pettan」を選び、OK ボタンをクリックします。(図 3-2)

「ぺったんオブジェクト」が挿入されます。(図 3-3)

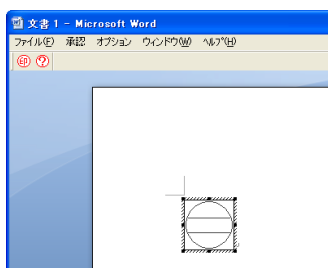


図 3-3 日付印ぺったんオブジェクトが挿入され、アクティブとなっている。メニューが日付印ぺったんのメニューに入れ変わっている。

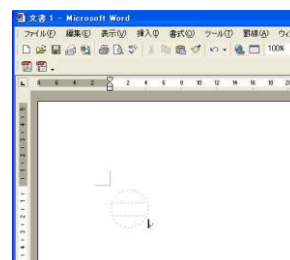



図 3-4 オブジェクト以外の部分をクリックすればオブジェクトがアクティブな状態は解除され、メニューは MS-Word のメニューに戻る。日付印の印影は未押印のため破線になっている。

3-2. 押印ダイアログ

「日付印ぺったん」オブジェクトがアクティブな状態ではメニュー及びツールバーは日付印ぺったんにメニュー/ツールバーに入れ替わっています。メニュー「承認」->「承認押印」を選択するか、ボタン をクリックすることにより押印ダイアログが表示します。

押印情報
 文書番号、承認者名、所属、承認日、承認項目を入力することができます。入力されたこれらの情報はぺったんオブジェクト（OLEオブジェクト）に挿入されます。印影自体には表示されません。押印情報確認機能で表示できます。
 承認者名、所属、承認項目については、前回承認時に入力したものが表示されます。なお、この承認者名、所属、承認項目は編集（エディット）できます。
 承認日にはこのダイアログボックスが開いたときの日付と時刻が表示されます。
 Excel/Word の場合は文書名が初期設定されます（押印メニューバーを用いた場合のみ）。

日付印ぺったんを選択します。選択するとその日付印ぺったんに登録されている上段(所属),下段(名前)が表示されます。

日付印ぺったんを選択するとその日付印ぺったんに登録されている上段(所属),下段(名前)が表示されます。日付はパソコンの日付が自動的に入り、変更することができます。上段(所属),下段(名前)は変更できません。

印影の色を任意の色に設定できます。このボタンをクリックするとカラーダイアログが開きます。

設定されているプロファイルが表示されます。

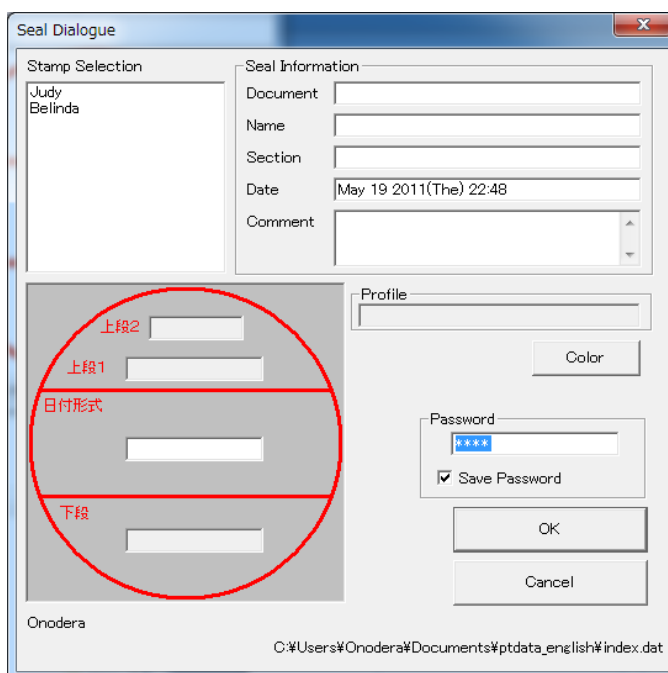
押印パスワードを入力します。サンプルのパスワードは TEST で登録されています。また、パスワードを保存をチェックしておけば、次回の承認時にはパスワードが自動的に挿入されます。

文字フォントを変更したいときに用います。

Windows へのログインユーザ ID が表示されます。この ID は日付印ぺったんオブジェクトへ押印時の情報として格納されます。

インデックスファイルパスが表示されます。

英語環境では右のようになります。



押印ボタンをクリックすれば押印されます。

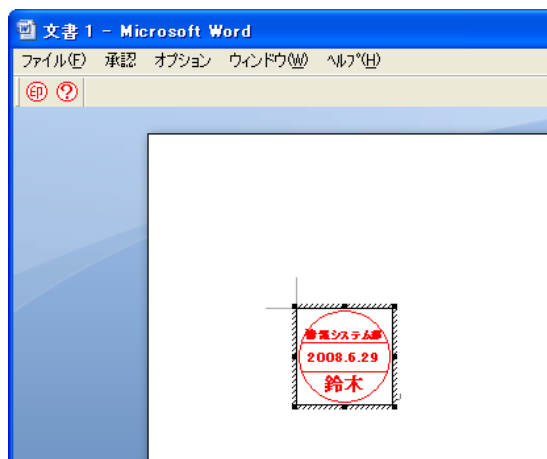


図 3-6 押印した状態ではオブジェクトはアクティブなまま。メニューは日付印ぺったんのものになっている。

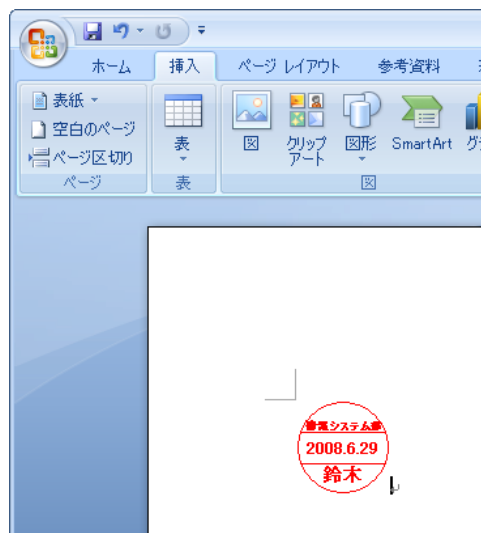
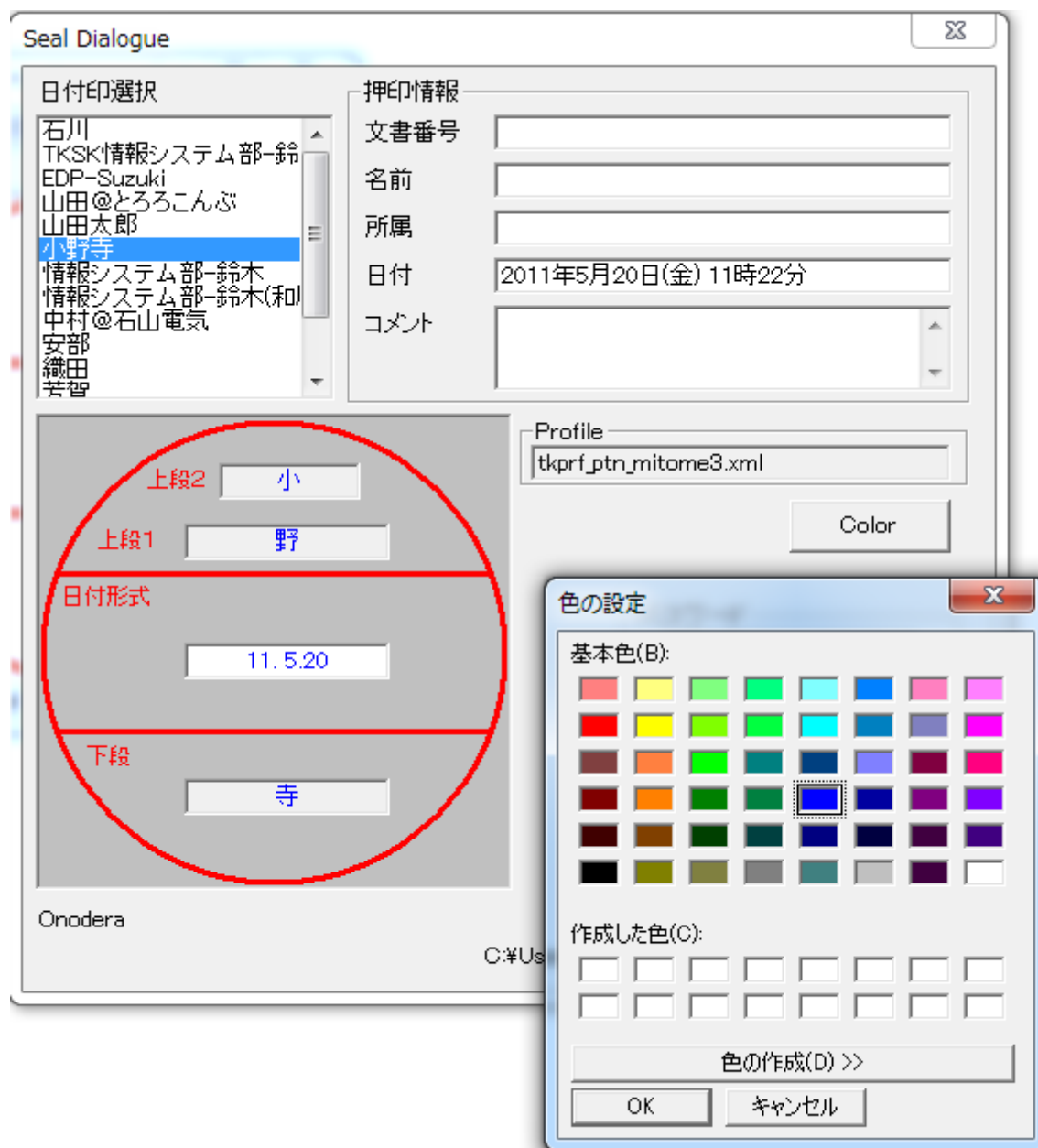


図 3-7 オブジェクト以外の部分をクリックすることにより日付印ぺったんオブジェクトはアクティブでなくなり、メニューはMS-Wordのものに戻る。

日付印ぺったんオブジェクト以外の部分をクリックすれば、MS-WORD `のメニュー`に戻ります。(図 3-7)

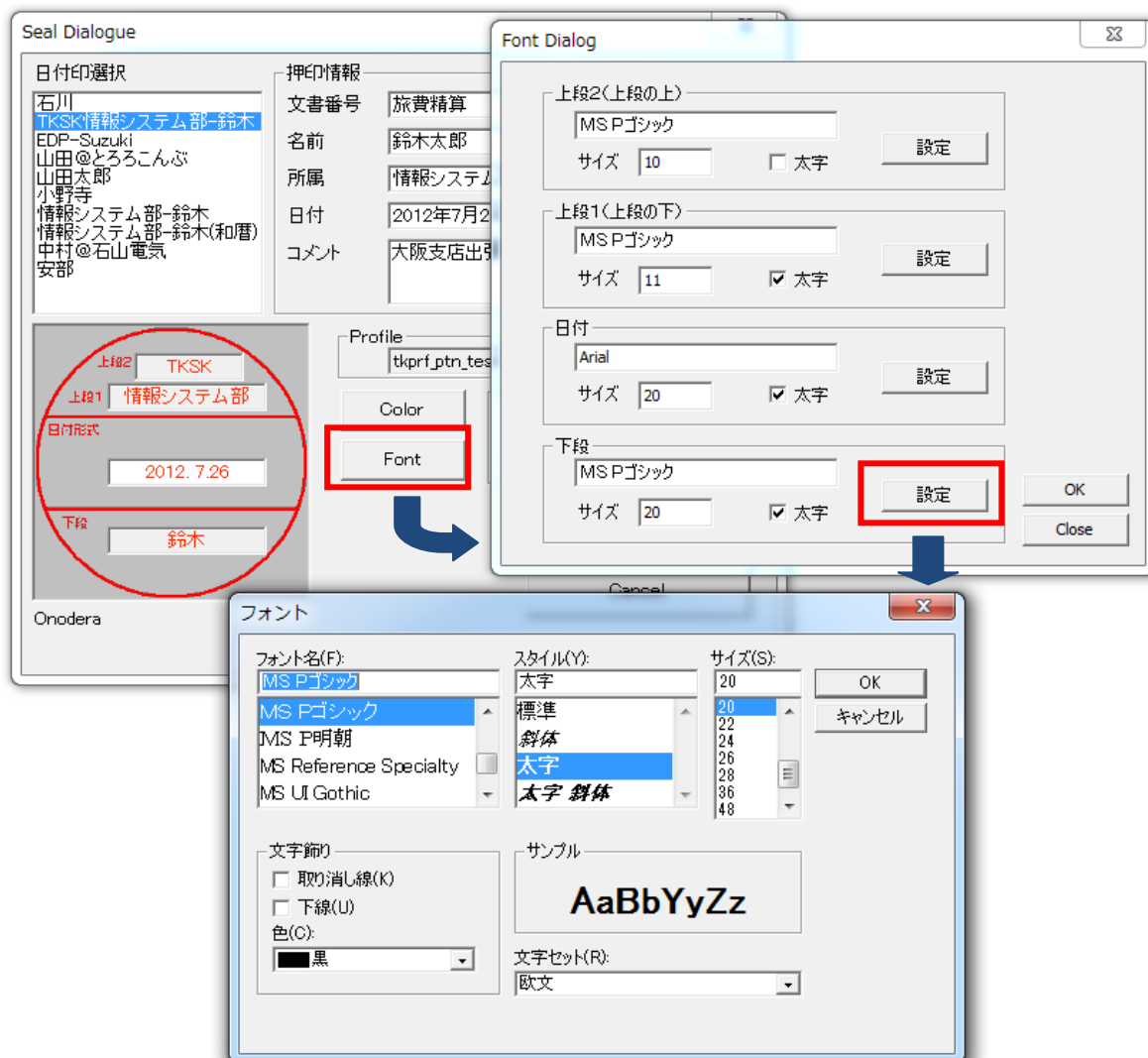
3-2-1.色の設定ダイアログ

ボタン[Color]をクリックすると「色の設定」ダイアログが開き、印影の色を任意に設定できます。印影の色のデフォルト値は 朱肉色 RGB(255,44,1) です。



3-2-2.文字フォントの変更

ボタン[Font]をクリックすると「フォント設定」ダイアログが開き、印影を構成する文字のフォントを設定できます。

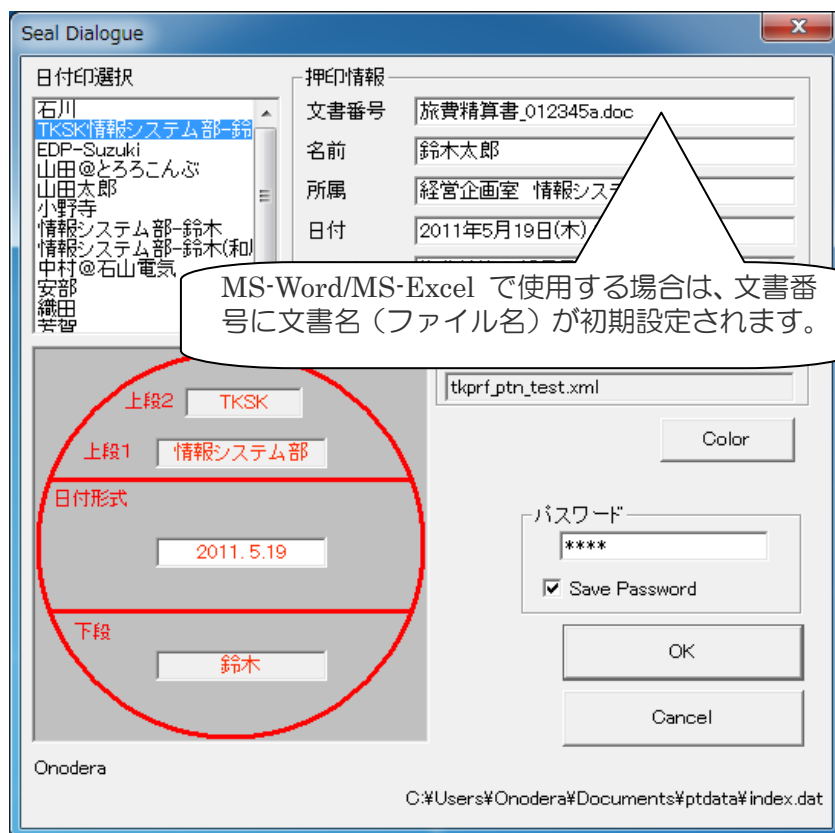


文字フォントは管理ツールでも設定できます。

優先度は次の順番になります。

- ① 押印ツールでの設定
- ② 管理ツールでの設定
- ③ プロファイルの設定

3-2-3.文書番号への Excel/Word 文書名の初期設定



MS-Word/MS-Excel 用押印メニューバーを用いて押印する場合、押印ダイアログ（Seal Dialogue)の文書番号にドキュメント名が初期設定されます。

MS-Word 押印メニューバー Ver1.4.3 及び MS-Excel 押印メニューバー Ver1.3.5 は押印ボタンをクリックした際にドキュメントフォルダー下の hanko.ini に文書名を出力します。

hanko.ini の例

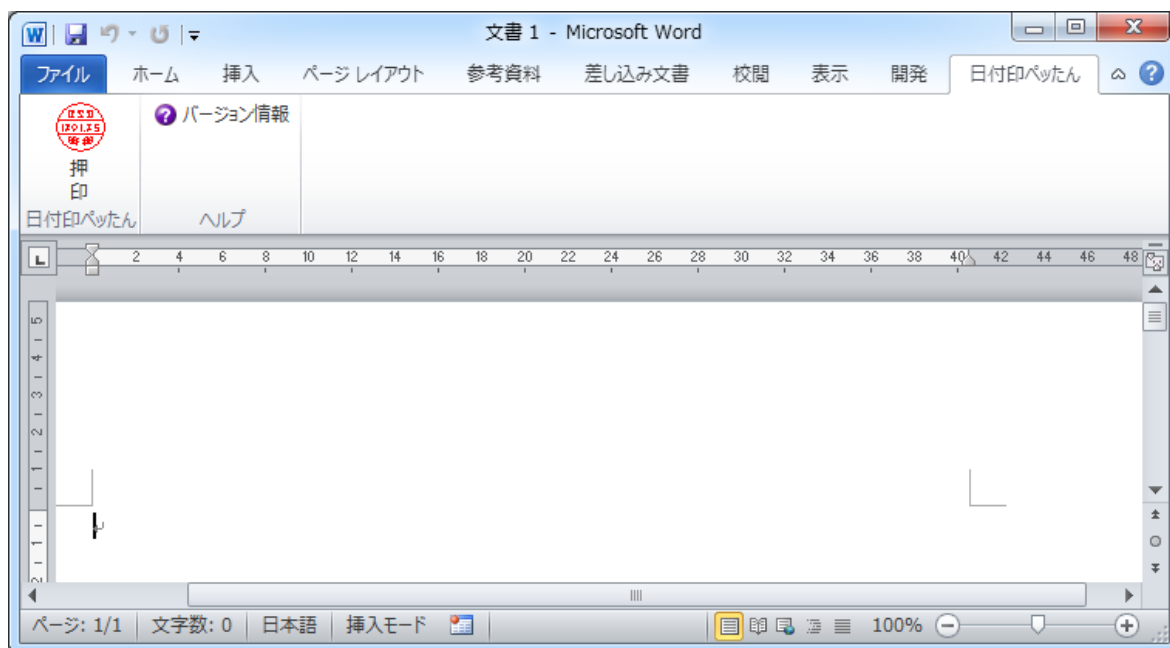
```
[Common]
DocumentNo=受注管理 2010.xls
```

日付印ぺったんはこの情報を読み込み、押印ダイアログの文書番号に初期値設定します。


チュートリアル2. 押印

日付印ぺったんにサンプルとして標準添付されているインデックスファイル index.dat を用いて、「情報システム部の鈴木さん」の日付印を押印します。

手順1) MS-Word を起動します。



手順2) 押印メニューを用いて押印します。

手順3) メニュー「承認」->「承認押印」を選択するか、ボタン をクリックしてください。

承認ダイアログが開きますので、日付印選択リストから「情報システム部-鈴木」を選択し、承認情報(文書番号、承認者名、所属、コメント)を適当に記入します。日付は自動的に入力されます。パスワードには"TEST"を入力します。(図 3-5)

手順4) 押印ボタンをクリックします。

押印ダイアログは閉じ、押印されます。(図 3-6)

日付印ぺったんオブジェクト以外の部分をクリックすれば、MS-WORD のメニューに戻ります。(図 3-7)

以上で押印についての説明は終わりです。問題なく押印できましたでしょうか。

次は、押印時に入力した承認情報を確認します。

手順5) この文書を適当な名前前で保存して、MS-WORD を一旦終了します。

ノート)このチュートリアルでは手動でオブジェクトリストから日付印ぺったんを選択するという少々煩雑な操作を行いました。MS-WORD,MS-EXCEL にはボタン一発で挿入できる便利なツールバーが用意されています。「2-4. Excel/Word ツールバー」を参照してください。

4. 押印情報の確認

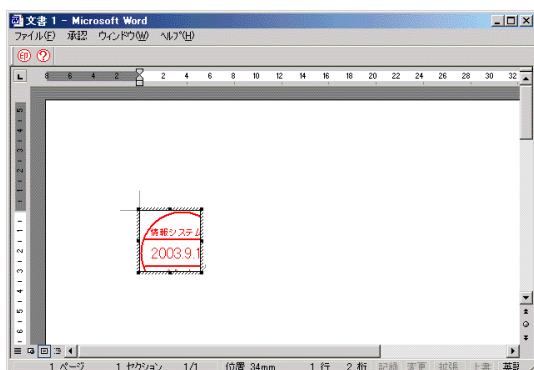



図 4-1 押印情報を確認するためには日付印ぺったんオブジェクトをアクティブにする必要があります。



図 4-2 押印情報が表示されます。

日付印ぺったんオブジェクトには押印情報が保持されています。この押印情報を確認する機能が日付印ぺったんには備わっています。

手順1) 日付印ぺったんオブジェクトをダブルクリックし、アクティブにします。(図 4-1)

手順2) メニュー「承認」->「承認確認」を選択するかボタン  をクリックします。

押印情報確認ダイアログが開き、押印時に入力した情報が確認できます。(図 4-2)

また、押印に使われたコンピュータの名前、押印時の Windows ログインユーザ ID も確認できます。

ノート) 日付印ぺったんオブジェクトを他の文書からコピーしてきても、文書番号が違うので不正が見抜くことができます。また、押印に使われた日付印ぺったんのバージョン、ライセンス ID もオブジェクトに保持され、確認できますので正規ライセンスを購入していないユーザによる押印と区別ができ、セキュリティは守られます。なお、ライセンス ID には企業名を設定することができます。


チュートリアル3. 押印情報の確認

チュートリアル2で挿入した日付印ぺったんオブジェクトの承認情報を確認します。

手順0) チュートリアル2で保管した WORD 文書を開きます。

手順1) はんこオブジェクトをダブルクリックします。日付印オブジェクトがアクティブになります。(図 4-1)

メニュー及びツールバーボタンは日付印ぺったんのものに入れ替わっています。

手順2) メニュー「承認」->「承認確認」を選択するかボタン  をクリックします。

承認確認ダイアログが開き、チュートリアル2で挿入した承認情報が確認できます。(図 4-2)

手順3) ボタン「Close」をクリックし、押印情報ダイアログを閉じ、ワードを終了します。

5. インデックスファイル と ペったんファイル

日付印ぺったんの印影はインデックスファイル デフォルトファイル名 index.dat とぺったんファイル (***.ptn) とで管理されます。

参考)このインデックスファイルはユーザ毎に作成することもできますし、グループ毎に作成することもできます。つまり、1ユーザ1インデックスファイルでも、複数ユーザを1つのインデックスファイルにまとめて管理することもできます。インデックスファイルは INI 形式のテキストファイルです。メモ帳などで開いて内容を確認することができます。

```
[安部]
Data=<Petfile>安部.ptn</Petfile> ---- 個々の日付印のファイル名
Password2=TeHc[B
Hash=By81nw --- ペったんファイル(この例では安部.ptn)の書き換え防止のハッシュコード
```

インデックスファイル例

ぺったんファイル例 安部.ptn

```
<Pettan><Up1>安</Up1><Up2></Up2><Down>部</Down>
<PettanID>0000-0000-0000-0000</PettanID><PHash>WYZJZDR6</PHash></Pettan>
<Profile>tkprf_ptn_default.xml</Profile><Shape><Size><X>19</X><Y>19</Y></Size></Shape>
<Date><Format>YYYY.MM.DD</Format></Date>
<LicenseId>体験版</LicenseId><Hash>JC2JDWYW</Hash>
<Font><Up2><Name>MS P明朝</Name><B>0</B><Size>10</Size></Up2>
<Up1><Name>MS P明朝</Name><B>1</B><Size>12</Size></Up1>
<Date><Name>Arial</Name><B>1</B><Size>16</Size></Date>
<Low1><Name>MS P明朝</Name><B>1</B><Size>12</Size></Low1></Font>
```

ぺったんファイル例 (安部.ptn)

このファイルはテキストファイルですのでメモ帳などで開くことはできますが編集はできません。日付印ぺったん管理ツール ペったんマネージャ ptmgr.exe を用いる以外の方法でこのファイルを書き換えますとセキュリティエラーとなります。

下の4行(青字/斜体字部分) タグで囲まれた部分は日付印ぺったん Ver5.6.3 Rel.3 で追加された部分です。フォント情報が格納されます。この部分がない場合はフォント情報はプロファイルから読み込まれます。

6. 日付印の登録、削除、修正

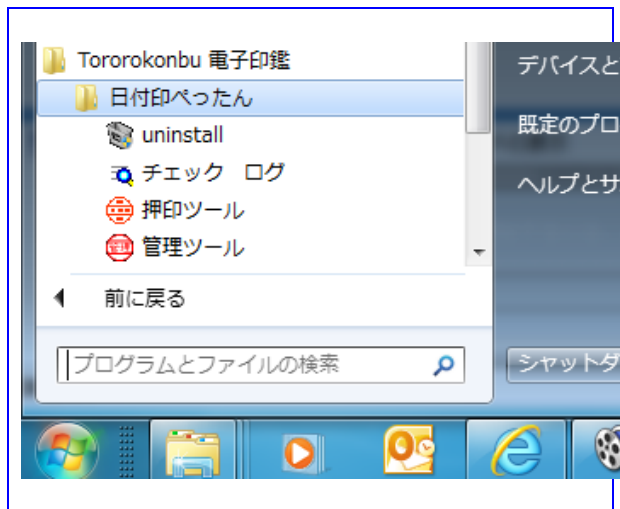


図 6-1 ペったんマネージャ(ptmgr.exe)はスタートメニュー[Tororokonbu 電子印鑑:日付印ぺったん:管理ツール]から起動します。

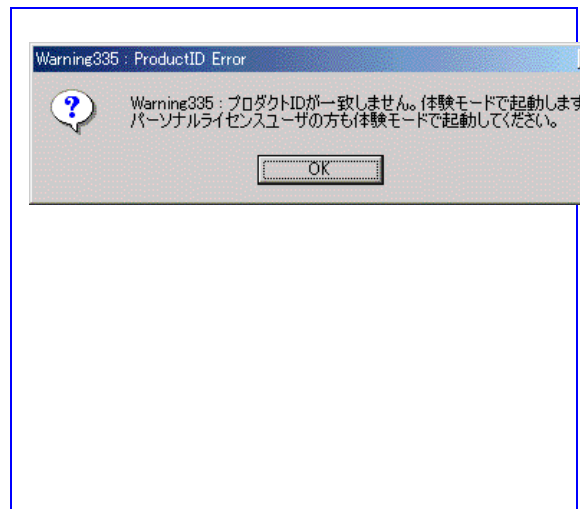


図 6-2 ライセンスが設定されていないと警告が表示されますが、体験使用はできます。

日付印の登録、削除、修正は日付印ぺったん管理ツール ペったんマネージャ(ptmgr.exe)で行います。

6-1. ペったんマネージャ(ptmgr.exe) の起動

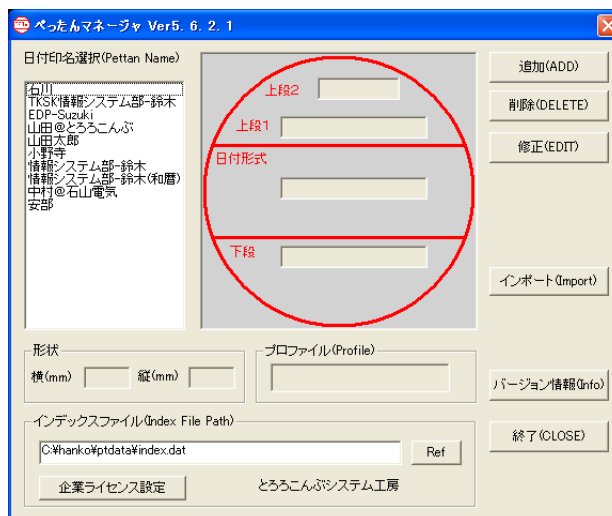
ぺったんマネージャ(ptmgr.exe) の起動手順について説明します。

手順1) ペったんマネージャ ptmgr.exe をスタートメニュー[Tororokonbu e-Seal:日付印ぺったん:管理ツール]を選択し起動します。(図 6-1)

「プロダクト ID が一致しません」という警告メッセージが表示されます。(図 6-2)
この警告はライセンス ID が設定されていないために表示されます。

OK ボタンをクリックします。日付印ぺったんマネージャが起動します。(図 6-3)

日付印ぺったん管理ツール ペったんマネージャが開きます。



6-2.. 日付印の追加

日付印を新たに登録するにはボタン「追加(Add)」をクリックします。
 ボタン「追加(Add)」をクリックすると追加ダイアログボックスが開きます。

追加(ADD) Dialogue

Name(印名)
 任意の名前を入力します。漢字も可能です。

印名は任意の文字列

Passwd(パスワード)
 任意の英数字文字列
 英字は大文字

パスワード
 押印時に入力するパスワードを設定します。アルファベット半角で設定します。文字数に制限はありません。

形状

横(mm)	縦(mm)
17	17
18	18
19	19

縦と横のサイズが異なると楕円になります。

形状
 横と縦のサイズを選択します。縦と横のサイズが異なる場合は楕円になります。

日付形式
 日付の形式を選択します。

上段(所属)
 上段は2段にすることができます。1段の場合は上段1に入力します。
 (参考) プロファイルを変更することにより、上段1に設定した文字を下段に表示することができます。つまり、上段1段/下段2段にすることも可能です。

下段(名前)
 下段は1段で入力します。
 (参考) プロファイルを変更することにより、上段1に設定した文字を下段に表示することができます。つまり、上段1段/下段2段にすることも可能です。

上段は2段にすることができます。1段の場合は上段1を空白のままにします。

プロファイル(Profile)
 tkprf_ptn_default.xml Ref

通常はデフォルトのまま変更の必要はありません。

インデックスファイル(Index File Path)
 C:\hanko2\ptdata#index.dat

ボタン「詳細設定」
 詳細設定ダイアログが開きます。上段/下段、日付のフォントの変更が行えます。

ボタン「Add(追加)」

ボタン「Cancel」

6-3. 日付形式

日付形式は次の表のようになります。

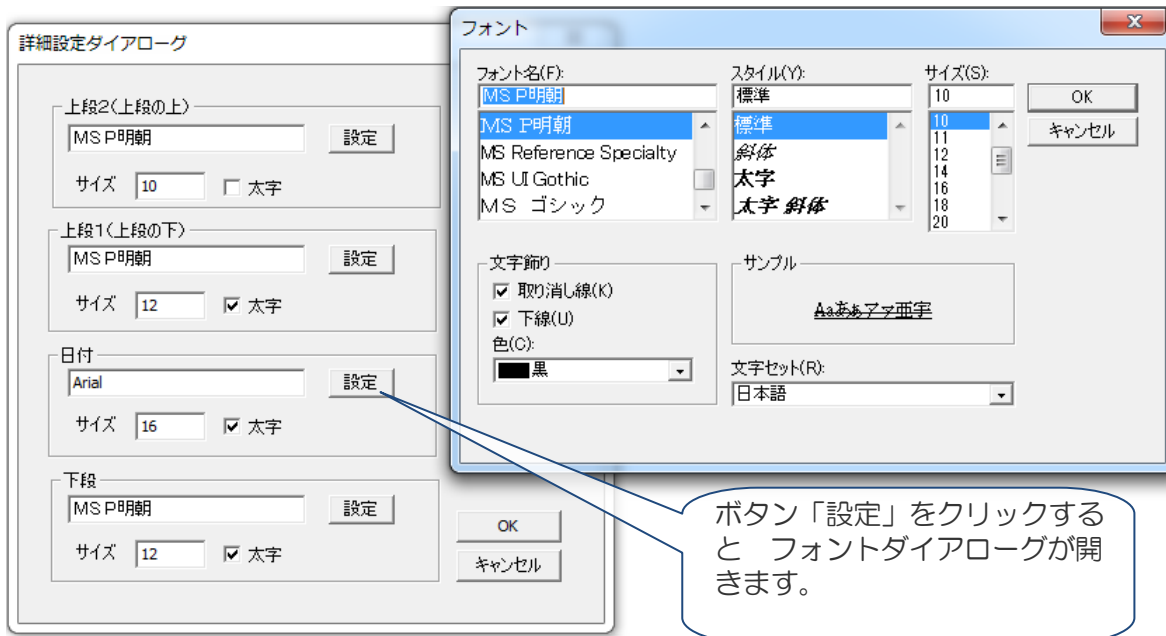
	日付形式	表示例	説明
西 暦	'YY. OM. OD	' 10. 05. 25	1桁の場合は0を挿入 1桁の場合は半角スペースを挿入。
	'YY. MM. DD	' 10. 5. 25	
	'YY-MM-DD	' 10- 5-25	
	'YY/MM/DD	' 10/ 5/25	
	YY. MM. DD	10. 5. 25	
	YY-MM-DD	10- 5-25	
	YY/MM/DD	10/ 5/25	
	YYYY. MM. DD	2010. 5. 25	
	YYYY-MM-DD	2010- 5. 25	
和 暦	YYYY/MM/DD	2010/ 5. 25	
	NN. MM. DD	22. 5. 25	1桁の場合は0を挿入 1桁の場合は半角スペースを挿入 1桁の場合は0を挿入
	NN. OM. OD	22. 05. 25	
	HNN. MM. DD	H22. 5. 25	
HNN. OM. OD	H22. 05. 25		
	NONE / EMPTY	日付なし	

表示例

'YY. OM. OD	'YY. MM. DD	NN. OM. OD	HNN. MM. DD	HNN. OM. OD

6-4. フォントの設定

追加ダイアログにて「詳細設定」ボタンをクリックすると 詳細設定ダイアログが開きます。



詳細設定ダイアログを用いて上段/下段、日付のフォントの設定を行うことができます。初期設定値はプロファイルから読み込まれます。

プロファイルにフォントサイズがAuto に設定されている場合は文字数から最適なサイズに自動設定されます。

プロファイルについては42ページの「8. プロファイルについて」を参照してください。

プロファイル例 tkprf_ptn_default.xml

```

<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" ?>
<Profile>
  <Shape>
    <Arc><X1>1</X1><Y1>1</Y1><X2>99</X2><Y2>99</Y2><Pen><Width>1</Width></Arc>
    <Arc2><X1>4</X1><Y1>4</Y1><X2>96</X2><Y2>96</Y2><Pen><Width>1</Width></Arc2>
    <Line1><X1>5</X1><Y1>34</Y1><X2>95</X2><Y2>34</Y2><Pen><Width>2</Width></Pen></Line1>
    <Line2><X1>5</X1><Y1>66</Y1><X2>95</X2><Y2>66</Y2><Pen><Width>2</Width></Pen></Line2>
    <Line3><X1>5</X1><Y1>32</Y1><X2>95</X2><Y2>32</Y2><Pen><Width>2</Width></Pen></Line3>
    <Line4><X1>5</X1><Y1>68</Y1><X2>95</X2><Y2>68</Y2><Pen><Width>2</Width></Pen></Line4>
  </Shape>
  <Up2><X>50</X><Y>20</Y> <Font><Name>MS P ゴシック</Name><B>0</B><Size>10</Size></Font> </Up2>
  <Up1><X>50</X><Y>32</Y> <Font><Name>MS P ゴシック</Name><B>1</B><Size>Auto</Size></Font> </Up1>
  <Date><X>50</X><Y>57</Y> <Font><Name>Arial</Name><B>1</B><Size>10</Size></Font> </Date>
  <Low1><X>50</X><Y>70</Y> <Font><Name>MS P ゴシック</Name><B>1</B><Size>Auto</Size></Font> </Low1>
</Profile>
    
```

この Fontタグで囲まれた部分が詳細ダイアログに初期設定されます。

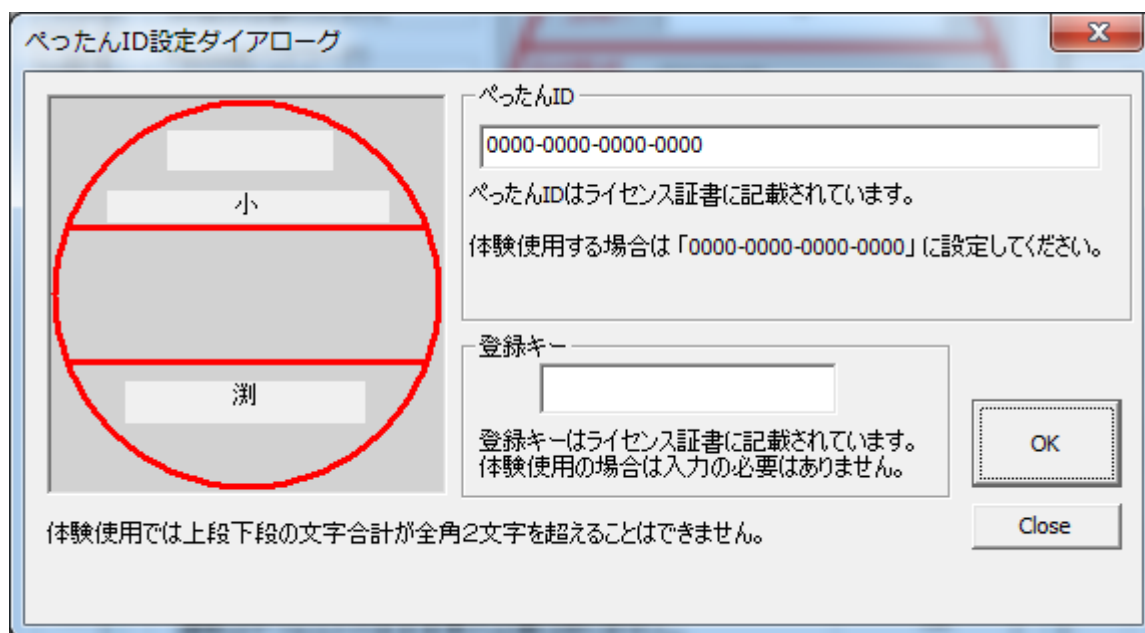
この Fontタグで囲まれた部分が詳細ダイアログに初期設定されます。

6-5. ぺったん ID 設定ダイアログ

体験使用、あるいはパーソナルでボタン「Add(追加)」をクリックするとぺったん ID 設定ダイアログが開きます。

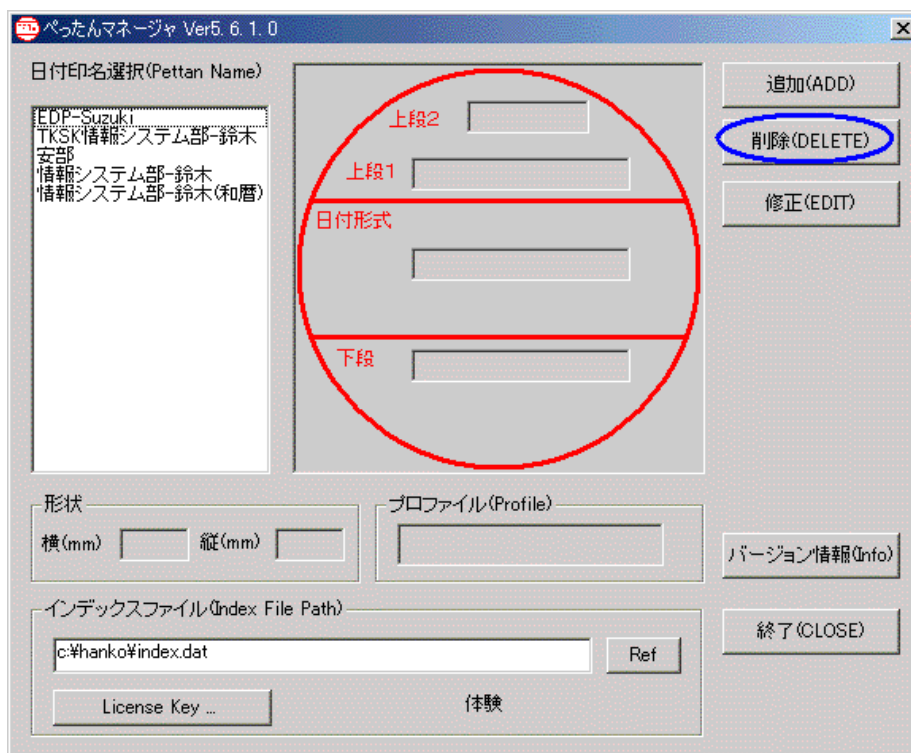
パーソナルライセンスで登録する場合はライセンス証書に記載されているぺったん ID と登録キーを設定し、ボタン「OK」をクリックしてください。

体験使用する場合は ぺったん ID は 0000-0000-0000-0000 に、登録キーの入力は必要ありません。



6-6. 日付印の削除

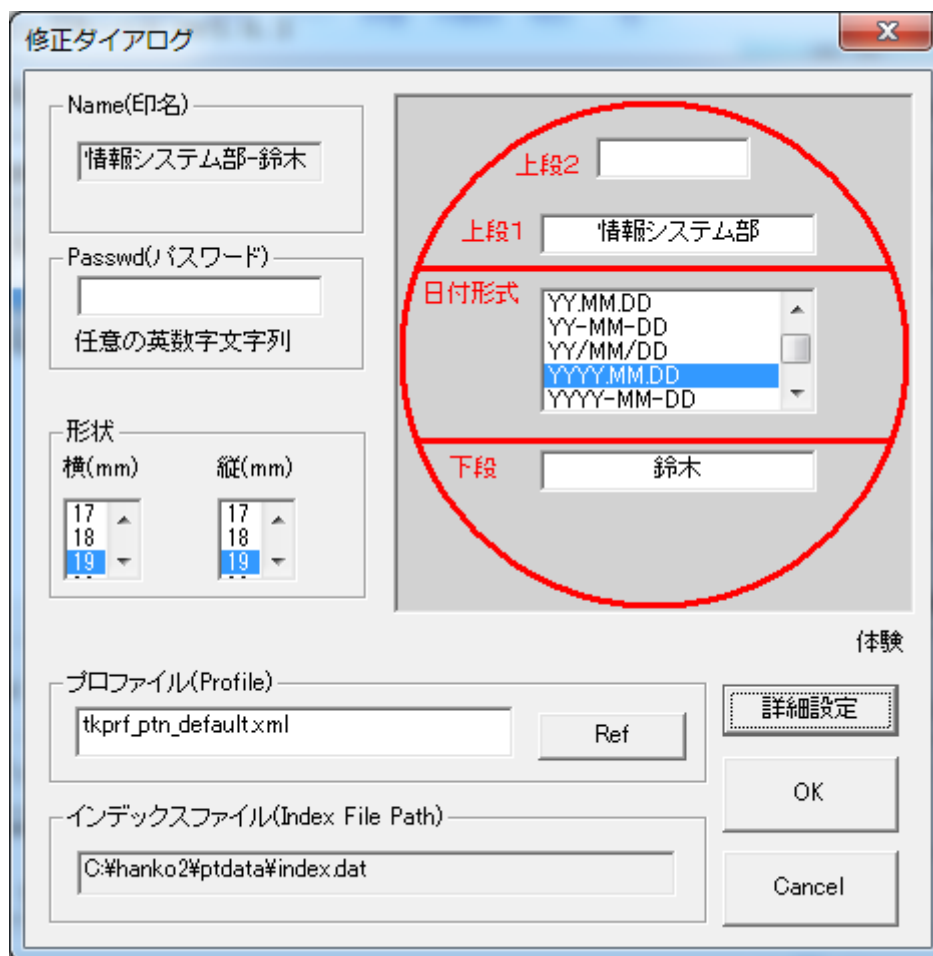
削除する日付印を選択します。



ボタン[削除]をクリックします。

6-7. 日付印の修正

日付印を修正するには、修正する印名を選択して、ボタン「修正(Edit)」をクリックします。修正ダイアログボックスが開きます。



エディットボックス	説明
上段 1, 上段 2	上段は2段にすることができます。1段の場合は上段1に入力します。
日付形式	日付の形式を選択します。
下段 (名前)	下段は1段で入力します。
形状	横と縦のサイズを選択します。縦と横のサイズが異なる場合は楕円になります。

参考) 詳細設定ボタンをクリックすると詳細設定ダイアログが開きます。この際の初期設定値は .ptn ファイル中の Font タグ に記載されている値になります。
.ptn ファイル中に Font タグが存在しない場合はプロフィール中の Font タグ に記載されている値になります。

6-8. インポート機能による一括登録

企業ライセンスユーザは CSV 形式のファイルを読み込むことで一括登録が行えます。デリミタ区切り文字はカンマ「,」である必要があります。

6-8-1. 読み込むファイルの形式

	項目名	例	備考
1	日付印の名前	鈴木	
2	初期パスワード	TEST	
3	上段 1	情報システム部	
4	上段 2		指定しない場合はスペースを入れてください。「, ,」にしてください。「, ,」だとエラーになります。
5	下段	鈴木	
6	プロファイル名	tkprf_ptn_default.xml	
7	横サイズ	19	
8	縦サイズ	19	
9	日付形式	YYYY.MM.DD	

例)

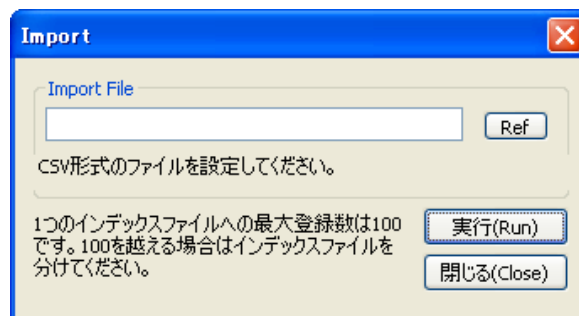
山川, TEST, 情報システム部, , 山川, tkprf_ptn_default.xml, 19, 19, YYYY. MM. DD

鈴木, TEST, 情報システム部, , 鈴木, tkprf_ptn_default.xml, 19, 19, YYYY. MM. DD

山田, TEST, 情報システム部, TK, 山田, tkprf_ptn_default.xml, 19, 19, YYYY. MM. DD

注) 1つのインデックスファイルに登録できる日付印は最大100です。100を超える場合はインデックスファイルを分割してください。(Ver5.6.2 Rel.3 以前は75)

6-8-2. 読み込みの手順



ボタン「インポート」をクリックします。

インポートするファイルを指定してボタン「実行」をクリックします。

手順 1) ペったんマネージャを起動し、ボタン「インポート」をクリックします。

手順 2) Import ダイアログが開きますので、インポートする cvs ファイル名を指定してボタン「実行」をクリックします。

参考) .ptn ファイル中の Font タグ にはプロファイル中の Font タグ に記載されている値が設定されます。

チュートリアル4 自分の名前の登録

チュートリアル2、3では日付印ぺったんに添付されているサンプルのインデックスファイル index.dat を用いました。このインデックスファイルには既に「情報システム部 鈴木」のぺったんが登録されています。

次に、このインデックスファイルに自分の名前のぺったんを追加します。以下の説明では、名前を「佐藤」と仮定していますが、自分の名前に置き換えて操作して下さい。

ノート) 体験モードでは、上段と下段の文字数の合計が全角2文字(半角4文字)に制限されています。この制限を越える場合には登録キーが必要になります。登録キーはパーソナルライセンスご購入の方にお送りしております。

手順1) 管理ツール ptmgr.exe を起動します。
エクスプローラ上で管理ツール ptmgr.exe をダブルクリックするなどして起動します。
「プロダクト ID が一致しませんという警告メッセージが表示されます。この警告はライセンス ID が設定されていないために表示されます。(図 6-1)

OK ボタンをクリックし、「体験モード」で使用してください。
管理ツールが起動されます。(図 6-2)

手順3) ボタン「追加(Add)」をクリックします。
追加ダイアログが開きます。

手順4) 次のように入力します。(図 6-3)

印名：佐藤 上段：佐 下段：藤 パスワード：TEST

手順5) 「Add(追加)」ボタンをクリックします。
企業ライセンス ID が設定されていない場合はぺったん ID 設定ダイアログが開きます。

手順6) ペったん ID として 0000-0000-0000-0000 を入力します。
登録キーは空のままにします。(図 6-4)

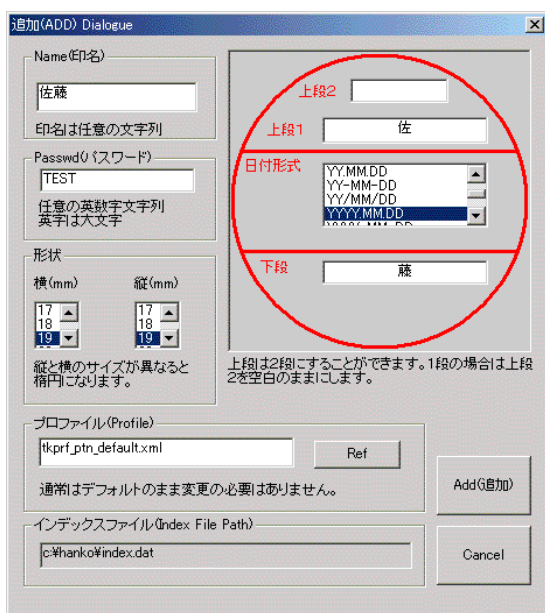


図 6-3 追加ダイアログ 「佐藤」を登録している。

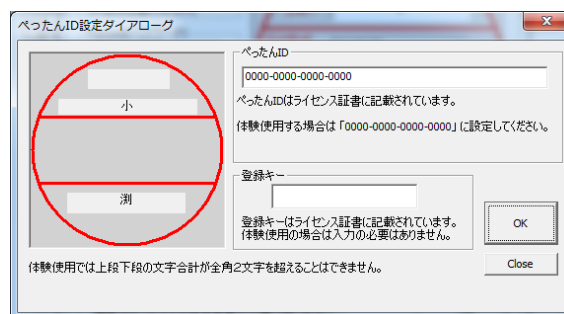


図 6-4 ペったん ID 設定ダイアログ
体験使用の場合は 0000-0000-0000-0000 を入力

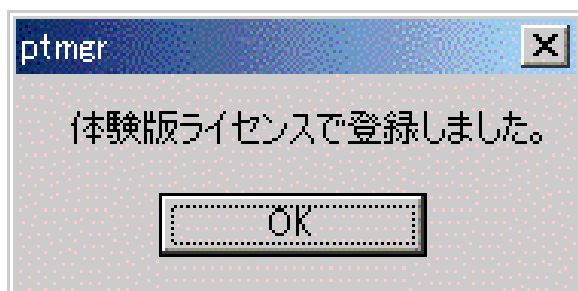


図 6-5 体験使用の場合の表示

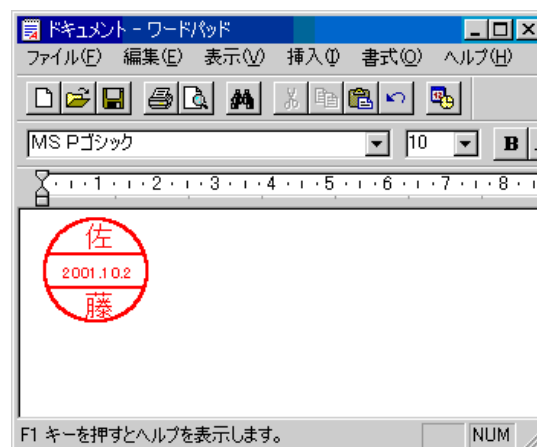


図 6-6 登録した日付印を押印する

手順7) ボタン OK をクリックします。
 メッセージ「体験版ライセンスで登録しました。」が表示されれば、上段が「佐」、下段が「藤」の日付印ぺったんが登録されています。(図 6-5)

参考)ぺったんインデックスファイル index.dat をノートパッドなどのエディタで内容を確認してみてください。また、ファイル 佐藤.ptn が生成されているはずです。

ノート) 手順 3 で登録したぺったん「佐藤」の文字数は全角 2 文字ですので登録キーは必要ありませんでした。全角2文字までは登録キーは必要ありませんが、全角2文字を越える場合は登録キーが必要になります。登録キーはパーソナルライセンスご購入の際にお送りしております。

企業ライセンスをご購入いただくとライセンス ID をお送りしております。
 文字数にかかわらず、登録キーの入力は必要なくなります。また、ライセンス ID には企業名などを指定することができます。このライセンス ID はぺったんオブジェクトに挿入され、後で確認することができます。

手順8) 押印チュートリアルを参考に押印し、自分の名前が押印できることを確認してください。(図 6-6)

注) 文字サイズが小さすぎる場合は、フォントサイズを変更してください。フォントサイズはプロファイルを編集することで行います。

チュートリアル5 登録キーを用いての登録(全角2文字を越える場合)

先のチュートリアルでは「佐藤」を登録しました。

今度は、「上段：情報システム部 下段：佐藤」を登録します。佐藤は全角2文字でしたので登録キーは必要ありませんでしたが、今度は全角2文字を越えていますので登録キーが必要になります。

「上段：情報システム部 下段：佐藤」のパーソナルライセンスを購入し、

ぺったん ID 0000-1234-1234-1234

登録キー 4JZUGEYA

が送られてきたものと仮定します。

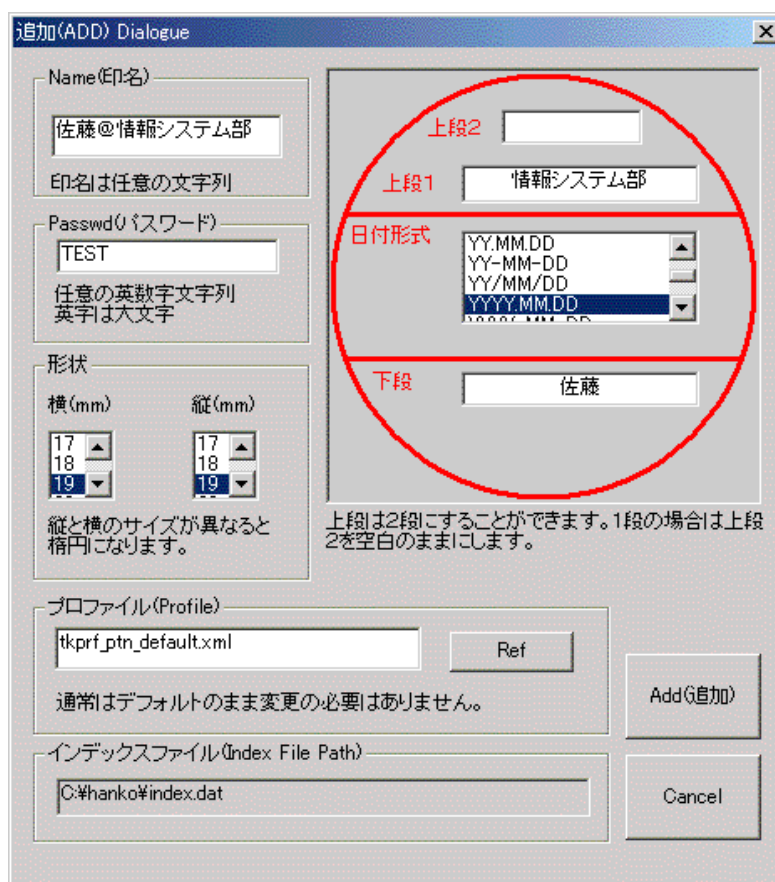
手順1) 管理ツール
ptmgr.exe を起動します。

手順2) ボタン「追加(Add)」
をクリックします。追加ダイ
アログが開きます。

手順3) 次のように入力しま
す。

Name(印名)：佐藤@情報シ
ステム部 上段1：情報シ
ステム部 下段：佐藤
パスワード：TEST

手順4) 「OK」ボタンをクリ
ックします。
ぺったん ID 設定ダイアロー
グが開きます。

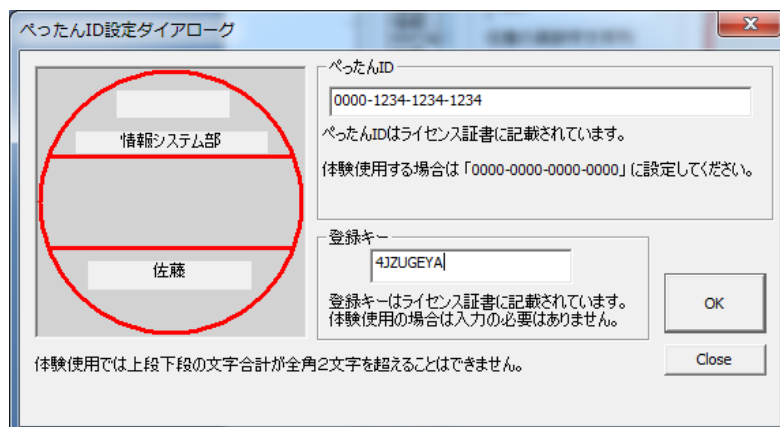


注意) ペったん ID 設定ダイアログは企業ライセンス ID を設定していない場合に表示されます。

手順5)
ぺったん ID
0000-1234-1234-1234
登録キー 4JZUGEYA
を入力します。

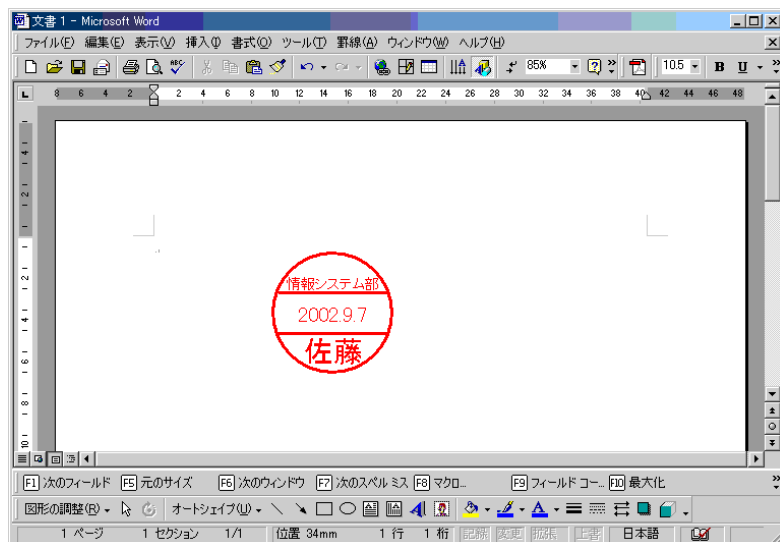
手順6)「OK」ボタンをクリックします。

これで上段が「情報システム部」、下段が「佐藤」の日付印ぺったんが登録されました。



参考)ぺったんインデックスファイル index.dat をノートパッドなどのエディタで内容を確認してみてください。ファイル「佐藤@情報システム部.ptn」が生成されているはずです。確認してみてください。

手順7) チュートリアル1を参考に押し、佐藤@情報システム部が押印できることを確認します。



7. パスワードの変更

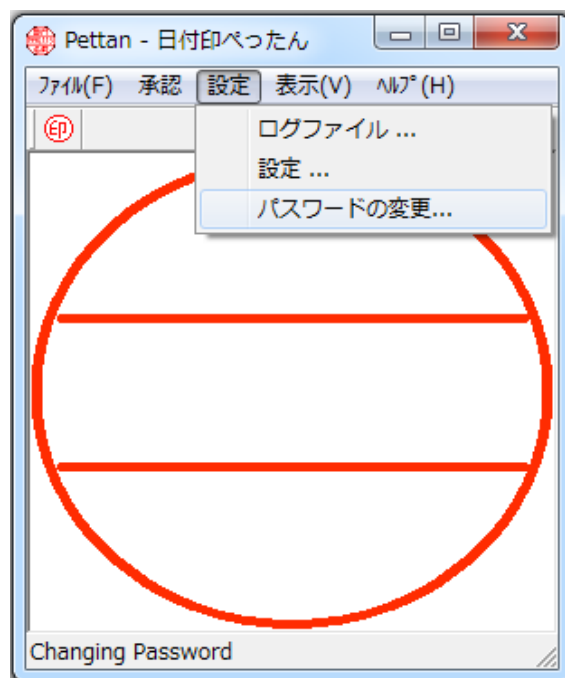
パスワードの変更は日付印ぺったん押印ツール(pettanin.exe)で行います。

パスワード変更手順は次の通りです。

手順 1) スタートメニューから日付印ぺったん：押印ツール を起動します。

手順 2) メニュー [設定] → [パスワードの変更 ...]を選択します。

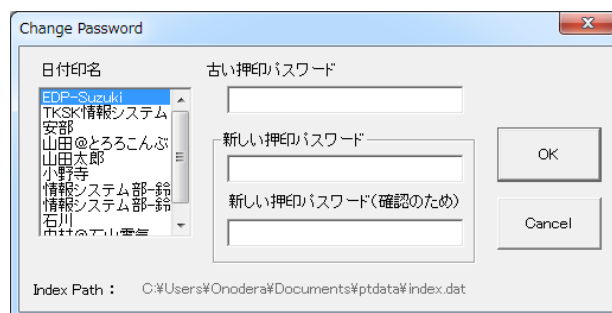
パスワード変更ダイアログが開きます。



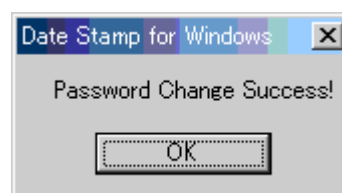
手順 3) ペったん選択リストボックスでパスワードを変更するぺったんを選択し、現在のパスワードと新しいパスワードを入力します。

注) 新しいパスワードは2つのエディットボックスに同じものを入力します。任意の英数字で文字数に制限はありません。

手順 4) OK ボタンをクリックします。



「Password change Success!」が表示されればパスワード変更は完了です。



チュートリアル6 パスワードの変更

「情報システム部-鈴木」のパスワードを変更します。
現在のパスワードには **TEST** を入力します。
新しいパスワードには任意の英数字を入力します。

8. プロファイルについて

区切り線や輪郭円の大きさや位置はプロファイルに保存されています。
区切り線や輪郭円を2重線にすることもできます。
さらに、太さを設定することができ、0（ゼロ）にすれば表示しないという設定も可能です。

このプロファイル（デフォルトファイル名 tkprf_ptn_default.xml）はインデックスファイル index.dat と同じフォルダ（デフォルトではマイドキュメント¥ptdata）に置いてください。

プロファイルはXML ファイルで、XML エディタで修正することができます。XML エディタが無い場合はメモ帳などのテキストエディタでも編集することができます。

プロファイルの選択は日付印ぺったん管理ツール(ぺったんマネージャ ptmgr.exe)で行います。ぺったんマネージャを起動し、追加/修正ダイアログではんこを追加/修正する際に指定します。

下の例は追加ダイアログの例です。

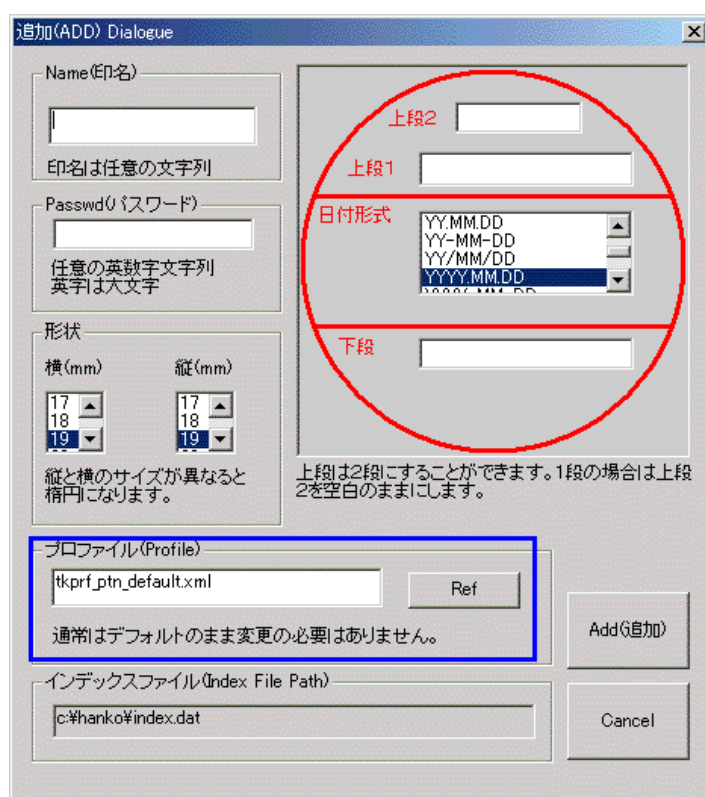


図 プロファイルは管理ツールでの登録追加時に選択できる。

8-1. プロファイルの構造

プロファイルはXML ファイルです。

座標は左上が(0,0)でサイズは 100X100 です。

下にデフォルトのプロファイル tkprf_ptn_default.xml を示します。

tkprf_ptn_default.xml

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" ?>
<Profile>
  <Shape>
    <Arc><X1>1</X1><Y1>1</Y1><X2>99</X2><Y2>99</Y2><Pen><Width>2</Width></Pen></Arc>
    <Arc2><X1>4</X1><Y1>4</Y1><X2>96</X2><Y2>96</Y2><Pen><Width>0</Width></Pen></Arc2>
    <Line1><X1>5</X1><Y1>34</Y1><X2>95</X2><Y2>34</Y2><Pen><Width>2</Width></Pen></Line1>
    <Line2><X1>5</X1><Y1>66</Y1><X2>95</X2><Y2>66</Y2><Pen><Width>2</Width></Pen></Line2>
    <Line3><X1>5</X1><Y1>32</Y1><X2>95</X2><Y2>32</Y2><Pen><Width>0</Width></Pen></Line3>
    <Line4><X1>5</X1><Y1>68</Y1><X2>95</X2><Y2>68</Y2><Pen><Width>0</Width></Pen></Line4>
  </Shape>
  <Up2><X>50</X><Y>20</Y> <Font><Name>MS P ゴシック</Name><B>0</B><Size>10</Size></Font> </Up2>
  <Up1><X>50</X><Y>32</Y> <Font><Name>MS P ゴシック</Name><B>1</B><Size>Auto</Size></Font> </Up1>
  <Date><X>50</X><Y>57</Y> <Font><Name>Arial</Name><B>1</B><Size>10</Size></Font> </Date>
  <Low1><X>50</X><Y>70</Y> <Font><Name>MS P ゴシック</Name><B>1</B><Size>Auto</Size></Font> </Low1>
</Profile>
```

			概要	デフォルト値
Shape	Arc	X1,Y1,X2,Y2	円の座標	0,0,99,99
		Pen:Width	線の太さ	2
	Arc2	X1,Y1,X2,Y2	円の座標 (2重線用)	4,4,96,96
		Pen:Width	線の太さ	0
Line1		X1,Y1,X2,Y2	上の線の座標	5,34,95,34
		Pen:Width	線の太さ	2
Line2		X1,Y1,X2,Y2	下の線の座標	5,66,95,66
		Pen:Width	線の太さ	2
Line3		X1,Y1,X2,Y2	上の線の座標 (2重線用)	5,32,95,32
		Pen:Width	線の太さ	0
Line4		X1,Y1,X2,Y2	下の線の座標 (2重線用)	5,68,95,68
		Pen:Width	線の太さ	0
Up2	Font	X,Y	上段の上の文字列の座標	50,20
		Name	上段の上の文字列のフォント名	MS P ゴシック
		B	上段の上の文字列が太字か否か 1 : 太字 0 : 太字でない	0
		Size	上段の上の文字列の文字サイズ Auto: 文字数から自動設定	Auto
Up1	Font	X,Y	上段の下の文字列の座標	50,32
		Name	上段の下の文字列のフォント名	MS P ゴシック
		B	上段の下の文字列が太字か否か 1 : 太字 0 : 太字でない	0
		Size	上段の下の文字列の文字サイズ Auto: 文字数から自動設定	Auto
Date	Font	X,Y	中段 (日付) の文字列の座標	50,57
		Name	中段 (日付) の文字列のフォント名	Arial
		B	中段 (日付) の文字列が太字か否か 1 : 太字 0 : 太字でない	0

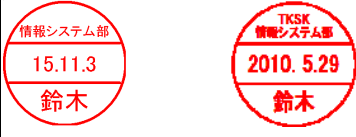





		Size	中段（日付）の文字列の文字サイズ Auto: 文字数から自動設定	Auto
Low1		X,Y	下段の文字列の座標	50,70
	Font	Name	下段の下の文字列のフォント名	MS Pゴシック
		B	下段の下の文字列が太字か否か 1: 太字 0: 太字でない	0
		Size	下段の下の文字列の文字サイズ Auto: 文字数から自動設定	Auto

丸輪郭線を2重線表示するために Arc2 が、上段下段の区切り線を2重線にするために Line3,Line4 があります。

全ての輪郭線 Arc,Arc2,Line1,Line2,Line3,line4 は太さを設定するためにタグ<Pen><Width>を持っています。このタグ<Pen><Width>を0（ゼロ）にすることにより、「認印」のような日付の無い印鑑も出来るようになります。

プロファイルは既存のものを修正することも出来ますし、いくつでも作成することができます。数字は全て半角を用いてください。フォントは間違いやすいので注意して記述してください。お使いのパソコンで用いることの出来るフォントは [スタートメニュー: コントロールパネル: フォント] で確認することが出来ます。また、日付印ぺったんインストールディレクトリ下のフォルダー ptdata 中のファイル「フォントリスト.txt」には Windows で用いることの出来る一般的なファンとがリストされています。ご利用ください。

なお、フォントの記述が間違っている場合、Windows がかってにフォントを選択します。フォントを変えても印影中のフォントが変わらない場合は、フォント名を再確認してください。デフォルトのプロファイル tkprf_ptn_default.xml の他にいくつかのサンプルプロファイルが付属しております。

プロファイル名	説明	例
tkprf_ptn_default.xml	デフォルトのプロファイル	
tkprf_ptn_wline.xml	外丸2重	
tkprf_ptn_shita2.xml	下段が2段	
tkprf_ptn_wline2.xml	外丸2重、区切り線2重	
tkprf_ptn_mitome.xml	認印、日付無し	
tkprf_ptn_mitome3.xml	認印、日付無し、3文字	

9. ログの出力

ログには 押印ログと管理ログの2種類があります。

押印ログは押印するたびに押印ツールから出力されます。

管理ログは日付印を追加、編集、削除するたびに管理ツールから出力されます。

9-1. 押印ログ

押印時に押印情報をログ出力することができます。

押印ログの出力先は押印ツールで変更できますが、押印者に変更を許したくない場合は管理ツールで押印ログの出力先を設定します。

9-1-1. 押印ログの形式

ログには押印時に押印ダイアログに入力した押印情報（文書番号、押印日、押印時間、承認者、所属、コメント）及び Windows ログインユーザ名、コンピュータ名が出力されます。最後にログ改ざん防止用のハッシュコードが付加されます。

コメントが複数行ある場合は、1行目のみログ出力されます。

ログの出力形式は CSV 形式です。デリミタはパイプ（縦棒）とカンマが選択できます。

ログ出力形式

Pt, 文書番号, 押印日, 押印時刻, 押印者の氏名, 押印者の所属, コメント, Windows ログインユーザ名, コンピュータ名, ハッシュコード

例

パイプ形式の例

```
pt|Doc No. 0088909-003|2010/07/17|14:15|鈴木太郎|情報システム部|部長承認|Onodera|GB1|1XWCYVWB|
```

CSV（カンマ）形式の例

```
pt, Doc No. 0088909-003, 2010/07/17, 14:16, 鈴木太郎, 情報システム部, 部長承認, Onodera, GB1, 1YWC2XWG,
```

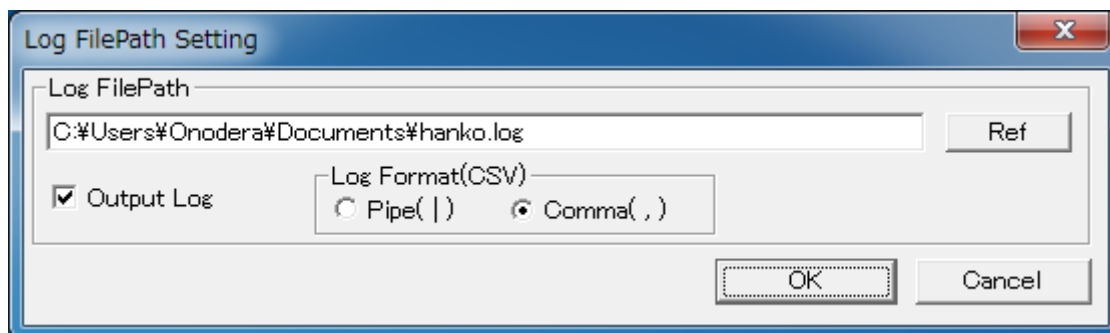
9-1-2. 押印ログ出力先の設定

ログの出力先は任意に変更できます。デフォルトの出力先はドキュメントフォルダーです。

ログの出力先の設定は押印ツールおよび管理ツールのどちらでも設定できますが、管理ツールで設定した場合は押印ツールでは設定ができなくなります。

① 押印ツールでの設定

押印ツール(pettanin.exe) を起動し、メニュー[設定] -> [ログファイル...]を選択します。

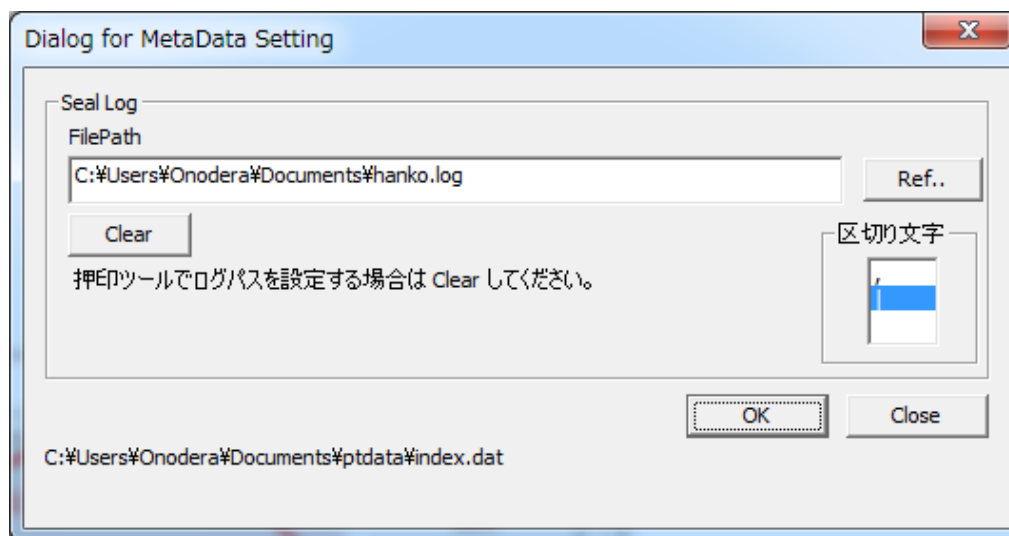


ログファイルを出力するには[Output Log]にチェックを付けます。
ログファイルの出力先を変更するにはボタン[Ref]をクリックします。

管理ツールでログの出力先を設定した場合は、[Output Log]にチェックがついていなくてもログが出力されます。

② 管理ツールでの設定

管理ツール を起動し、ボタン[押印設定]をクリックします。



押印ログパス(Seal Log Path) を設定し、ボタン[OK]をクリックします。

管理ツールによる押印ログパス設定値は日付印ぺったんデータファイル（インデックスファイル）に書き込まれます。日付印ぺったんデータファイル毎に押印ログパスの設定を行う必要があります。

日付印ぺったんデータファイル中の押印ログパス情報例

```
[META]
Data=<data><SealLog><path>C:¥Users¥Onodera¥Documents¥hanko.log</path><dlmt>
|</dlmt></SealLog></data>
```

管理ツールで押印ログファイルパスを設定すると押印ツールでは押印ログファイルパスの設定ができなくなります。押印ツールで押印ログパスの設定をできるようにするにはボタン[Clear]をクリックし、押印ログパスの設定値を空白にしてください。

9-1-3. 押印ログのチェック

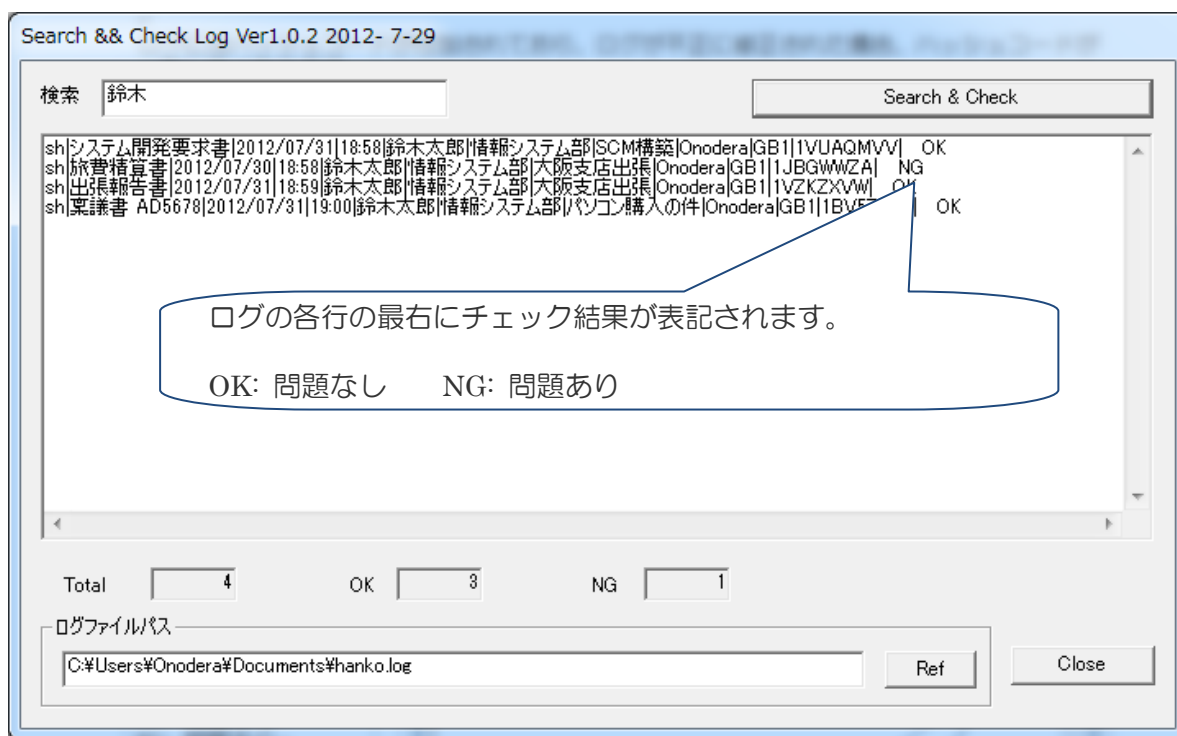
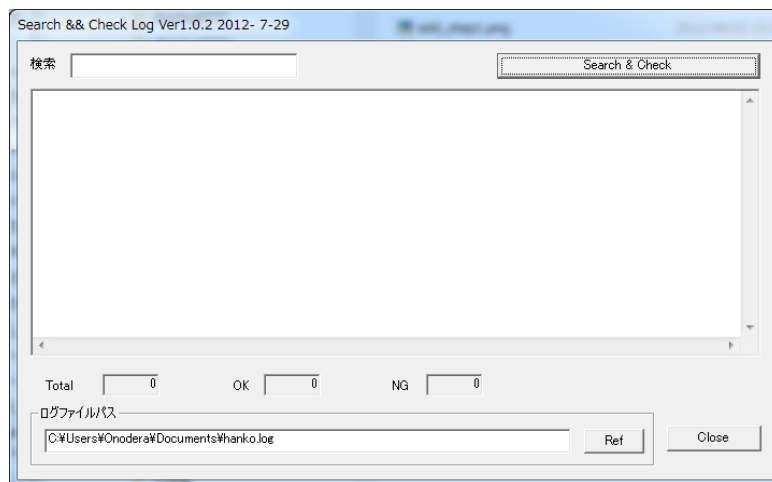
押印ログを検索/チェックできるアプリケーション checklog が用意されています。

ログにはハッシュコードが付加されており、ログが不正に修正された場合、ハッシュコードが一致しくなくなります。

手順1) スタートメニューからチェックログ を起動します。

手順2) ボタン[Ref]をクリックして、チェックするログファイルを選択します。

手順3) ボタン[Check]をクリックします。



「鈴木」で検索した例です。

図の例では2行目が改ざんされているため、NG になっています。

9-2. 管理ログ

管理ツールで日付印を追加、編集、削除するたびに管理ログが出力されます。

ログ出力形式

フラグ|日付印ぺったん名|日|時|

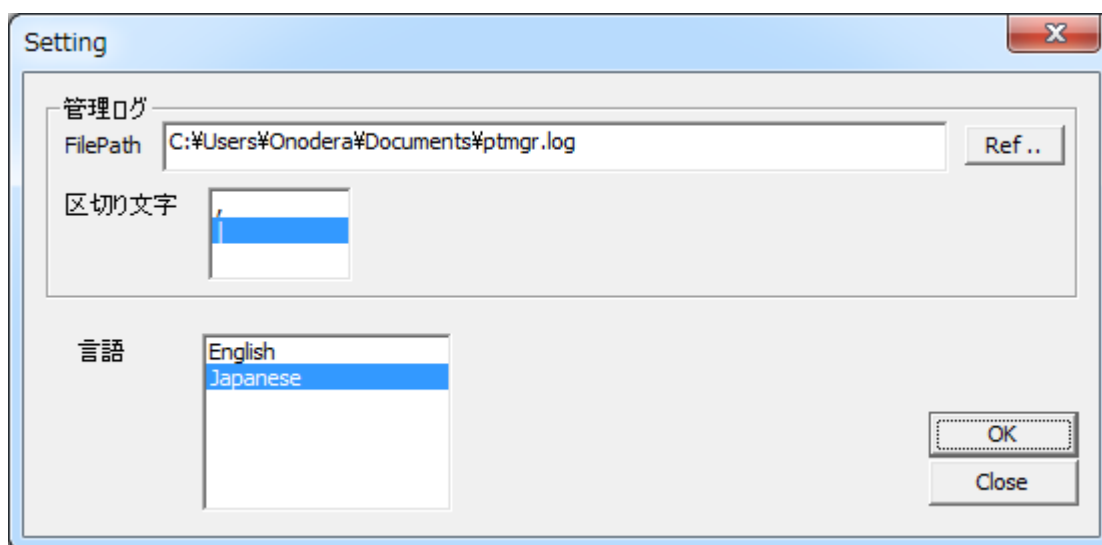
フラグは次の通りです。

ADD --- 追加
EDT --- 編集
DEL --- 削除

例

DEL|安部|2012/04/15|23:05|

管理ログの出力先は 管理ツールの設定ダイアログで変更できます。



デフォルトの管理ログ出力先は

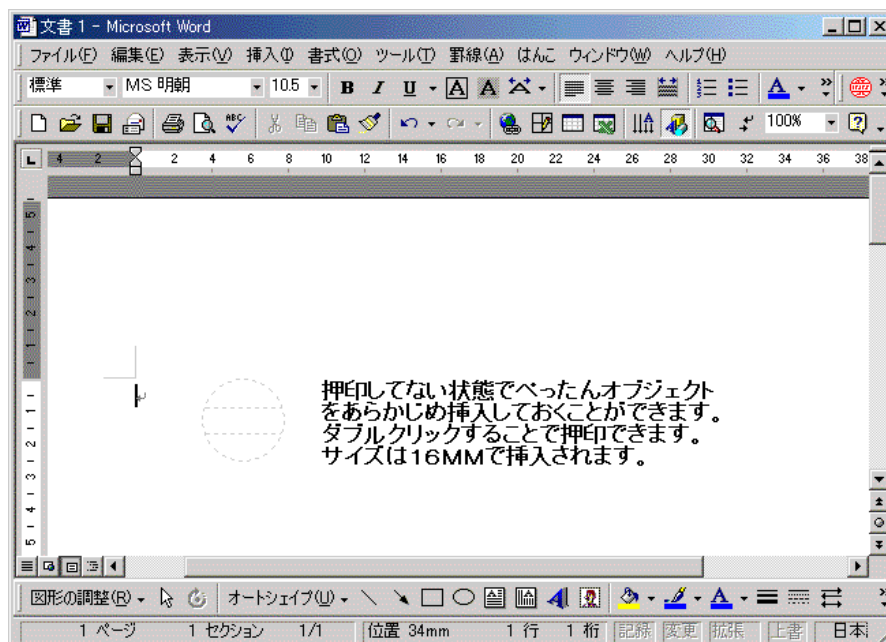
ドキュメントフォルダー\ptmgr.log

になります。

10. 未押印ぺったんオブジェクト

日付印ぺったんは押印しない状態であらかじめワードなどで作成したフォーム（様式）に埋め込んでおき、押印の際にはこの埋め込んでおいた日付印ぺったんをダブルクリックするという方法があります。

この場合、サイズは16MMになります。



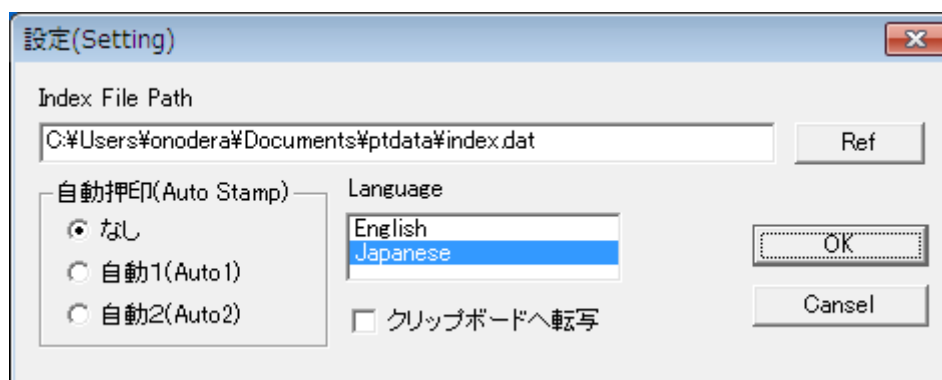
日付印ぺったんオブジェクトがあらかじめ挿入されている例。

11. 自動押印

押印ダイアログを表示せずに押印できます。

自動押印機能を使用するにはパスワード保存機能を用い、あらかじめパスワードを設定して使うのが基本です。パスワードが保存せずに自動押印機能を用いた場合は、押印ダイアログが開きます。

パスワード保存有り	
自動押印なし	[オブジェクト挿入] → [押印ボタン] → [承認ダイアログ] → [OK ボタン] → [完了]
自動押印1	[オブジェクト挿入] → [押印ボタン] → [完了]
自動押印2	[オブジェクト挿入] → [完了]
パスワード保存なし	
自動押印なし	[オブジェクト挿入] → [押印ボタン] → [承認ダイアログ] → [パスワード入力] → [OK ボタン] → [完了]
自動押印1	[オブジェクト挿入] → [押印ボタン] → [承認ダイアログ] → [パスワード入力] → [OK ボタン] → [完了]
自動押印2	[オブジェクト挿入] → [承認ダイアログ] → [パスワード入力] → [OKボタン] → [完了]



11-1. 自動押印の設定

日付印ペッタン が起動された状態で、メニュー[オプション:設定]をクリックします。

設定ダイアログ上で自動押印を選択します。

11-2. 自動押印の解除

日付印ペッタン が起動された状態で、メニュー[オプション:設定]をクリックします。

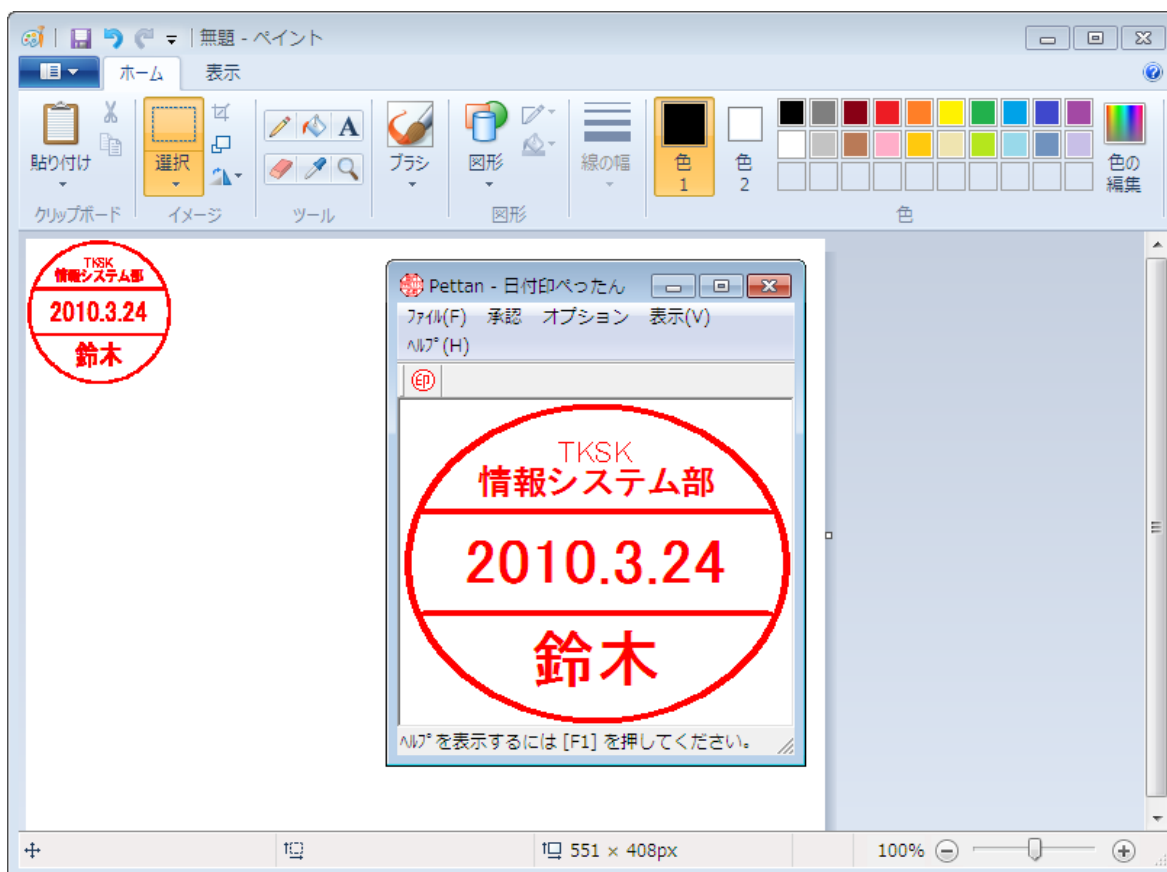
設定ダイアログ上で自動押印なしを選択します。

12. クリップボード転写

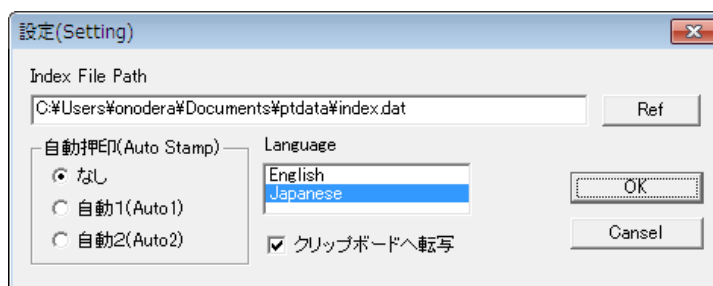
OLE に対応していないアプリケーションを用いて文書を編集している場合、オブジェクトの挿入機能がないため押印できません。

そのような場合には、クリップボード経由で印影イメージを文書に押印することができます。

日付印ぺったんを起動し、押印すれば印影イメージがクリップボードに転写されます。



印影イメージをクリップボードの転写するには設定ダイアログの「クリップボードへ転写」チェックボックスにチェックを入れておく必要があります。



Appendix A ライセンス ID とぺったん ID

ライセンス ID は基本ユーザライセンスをご購入の方にお送りしております。
 一方、ぺったん ID はパーソナルユーザライセンスご購入の方にお送りしております。
 体験モードでぺったんを登録した場合はぺったん ID は 0000-0000-0000-0000 に、ラ
 イセンス ID は 「体験版」 になります。

体験モードの場合

上段と下段の文字数の合計が全角2文字以内の場合はぺったんIdとして 0000-0000-0000-0000
 を入力すれば登録することができます。この場合、インデックスファイルとぺったんファイル
 がどうなるか下に例を示します。

体験版の例のインデックスファイル例

```
[安部]
Data=<Petfile>安部.ptn</Petfile>
Password2=TeHc[B
Hash=By81nw
安部.ptn
<Pettan><Up1>安</Up1><Up2></Up2><Down>部</Down>
<PettanID>0000-0000-0000-0000</PettanID><PHash>WYZJZDR6</PHash></Pettan>
<Profile>tkprf_ptn_default.xml</Profile><Shape><Size><X>19</X><Y>19</Y></Size></Shape>
<Date><Format>YYYY.MM.DD</Format></Date>
<LicenseId>体験版</LicenseId><Hash>JC2JDWYW</Hash>
<Font><Up2><Name>MS P明朝</Name><B>0</B><Size>10</Size></Up2>
<Up1><Name>MS P明朝</Name><B>1</B><Size>12</Size></Up1>
<Date><Name>Arial</Name><B>1</B><Size>16</Size></Date>
<Low1><Name>MS P明朝</Name><B>1</B><Size>12</Size></Low1></Font>
```

登録されるライセンス ID は **体験版** となります。また、ぺったん ID は 0000-0000-0000-0000
 となります。

パーソナルライセンスの場合

上段と下段の文字数の合計が全角2文字を超える場合はぺったん Id と登録キーが必要になり
 ます。インデックスファイルとぺったんファイルがどうなるか下に例を示します。

パーソナルライセンスの場合のインデックスファイル例

```
[田中]
Data=<Petfile>田中.ptn</Petfile>
Password2=TeHc[B
Hash=BCxrtN
```

田中.ptn

```

<Pettan><Up1>田</Up1><Up2></Up2><Down>中</Down>
<PettanID>0000-1234-1234-1234</PettanID><PHash>4Y7YVYCV</PHash></Pettan>
<Profile>tkprf_ptn_default.xml</Profile>
<Shape><Size><X>19</X><Y>19</Y></Size></Shape>
<Date><Format>YYYY. MM. DD</Format></Date>
<LicenseId>Personal</LicenseId><Hash>C2VXZP9F</Hash>
<Font><Up2><Name>MS P明朝</Name><B>0</B><Size>10</Size></Up2>
<Up1><Name>MS P明朝</Name><B>1</B><Size>12</Size></Up1>
<Date><Name>Arial</Name><B>1</B><Size>16</Size></Date>
<Low1><Name>MS P明朝</Name><B>1</B><Size>12</Size></Low1></Font>

```

パーソナルライセンスの場合、登録されるライセンス ID は **personal** となります。

企業ライセンスユーザの場合

ライセンス ID 及びぺったん ID には同じものが入ります。

企業ライセンスユーザの場合のインデックスファイル例

```

[久保田早紀]
  Data=<Petfile>久保田早紀.ptn</Petfile>
  Password2=TeHc[B
  Hash=B?jw;>

```

久保田早紀.ptn

```

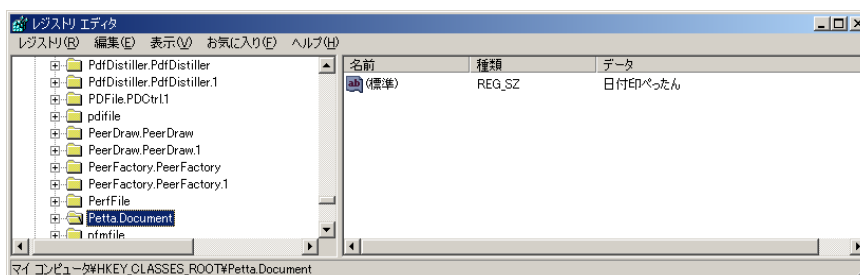
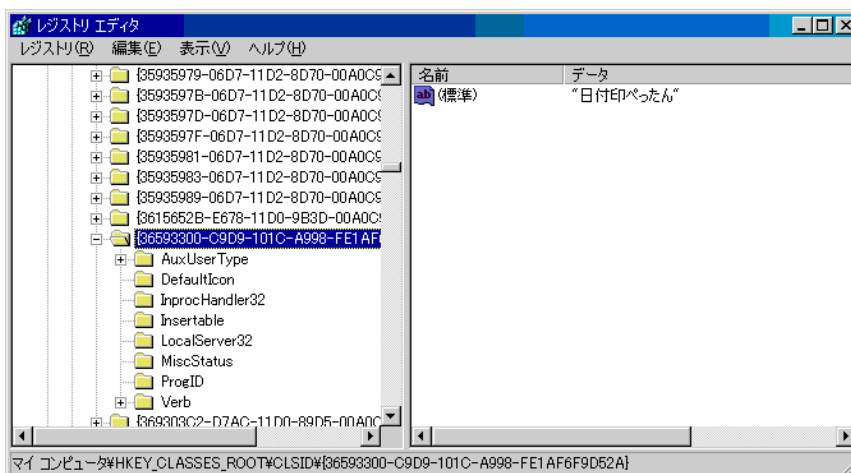
<Pettan><Up1>久保田</Up1><Up2></Up2><Down>早紀</Down>
<PettanID>とろろこんぶシステム工房</PettanID>
<PHash>VZ1WC89V</PHash></Pettan>
<Profile>tkprf_ptn_default.xml</Profile>
<Shape><Size><X>19</X><Y>19</Y></Size></Shape>
<Date><Format>YYYY.MM.DD</Format></Date>
<LicenseId>とろろこんぶシステム工房</LicenseId><Hash>JTFX13WY</Hash>
<Font><Up2><Name>MS P明朝</Name><B>0</B><Size>10</Size></Up2>
<Up1><Name>MS P明朝</Name><B>1</B><Size>12</Size></Up1>
<Date><Name>Arial</Name><B>1</B><Size>16</Size></Date>
<Low1><Name>MS P明朝</Name><B>1</B><Size>12</Size></Low1></Font>

```

Appendix B. レジストリに登録される日付印ぺったんオブジェクト

日付印ぺったんをインストールするとレジストリに次の2つが登録されます。
アンインストールの実行によって自動的に削除されます。

- ① HKEY_CLASS_ROOT¥CLSID¥{36593300-C9D9-101C-A998-FE1AF6F9D52A}
注) 64bit 版の場合は
HKEY_CLASSES_ROOT¥Wow6432Node¥CLSID¥{36593300-C9D9-101C-A998-FE1AF6F9D52A}
- ② HKEY_CLASS_ROOT¥ Petta.Document



B-1. レジストリエディタ

レジストリの内容を確認するにはレジストリエディタ(regedit.exe)をします。

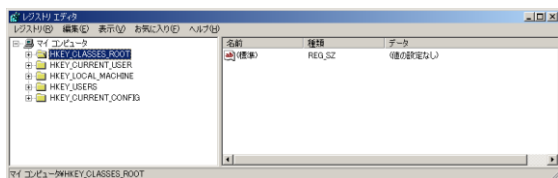


図 C-1 レジストリエディタを起動する

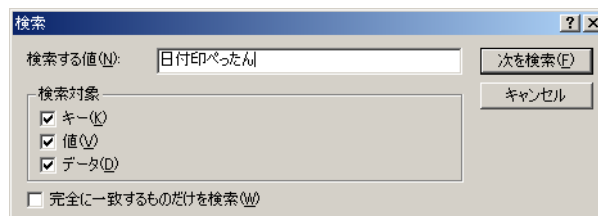


図 C-2 「日付印ぺったん」を検索する

手順0) 管理権限のあるユーザで Windows にログインします。

手順1) レジストリエディタ(regedit.exe)を起動します。(図 C-1)

スタートボタン → 「ファイル名を指定して実行」を選択し、regedit と入力し、OK ボタンをクリックします。レジストリエディタが起動されます。

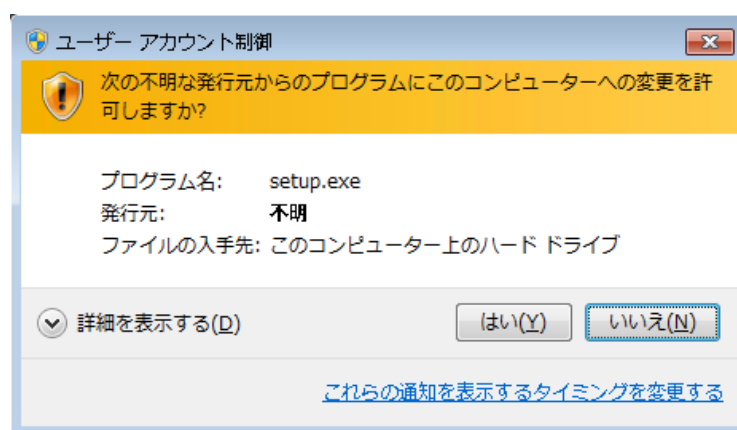
Appendix C. 付加されているデジタル証明書について

日付印ぺったんの押印ツール(pettanin.exe)、管理ツール(ptmgr.exe) 及びセットアップツール、ログチェックツール には グローバルサイン社発行のとろろこんぶシステム工房 代表 小野寺健一(Kenichi Onodera) のデジタル証明書が付加されています。

パソコンにグローバルサイン社のルート証明書がインストールされていない場合はインストーラ実行時に次のメッセージが表示されます。

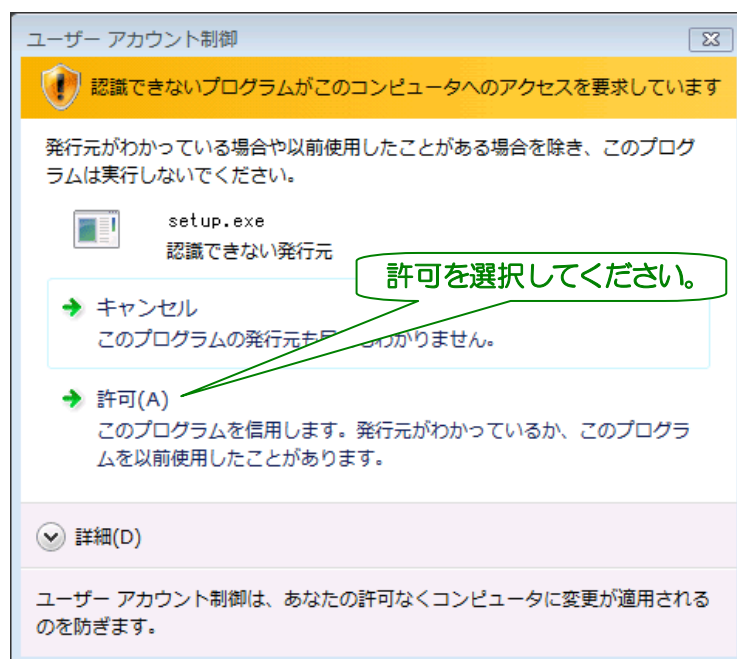
【Windows 7 の場合】

右図の表示が出ますのでボタン「はい」をクリックしてください。



【Windows Vista の場合】

「認識できないプログラムがこのコンピュータへのアクセスを要求しています」と表示されますので、「許可 (A)」を選択してください。

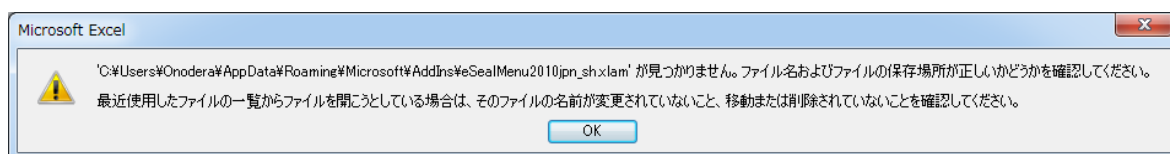


パソコンにインストールされているルート証明書はインターネットエクスプローラのオプションで確認することができます。

Appendix D. アンインストール後の Excel 押印メニューアドインの無効化

Excel に日付印ぺったん押印メニューが組み込まれている場合は、日付印ぺったんのアンインストールを行う前に押印メニューアドインの無効化を行ってください。

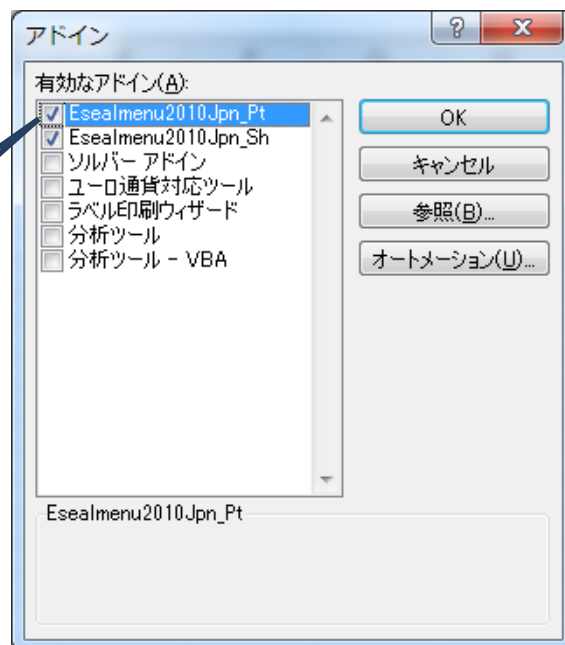
無効化せずに承認はんこのアンインストールを行うとエラー「'C:\Users\ユーザ名\AppData\Roaming\Microsoft\AddIns\ESealMenu???.jpn_pt.xlam'が見つかりません。」が表示されます。



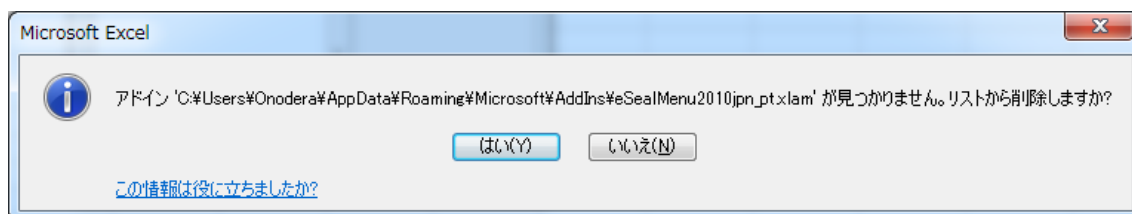
■このエラーが起きてしまった場合の対処方法

Excel のアドインダイアログを開き、有効なアドインリスト上の押印メニューアドインのチェックを外してください。

チェックを外します。



リストから削除するか確認メッセージが表示されますので「はい」を選択します。



おわり